

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県 常滑市

自治体名：愛知県常滑市

担当課名：生涯学習スポーツ課

電話番号：0569-43-5111

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報 (R7.2月1日現在)

|                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 面積                     | 55.90 km <sup>2</sup>       |
| 人口                     | 58,603 人                    |
| 公立中学校数                 | 4 校                         |
| 公立中学校生徒数               | 1,852 人                     |
| 部活動数                   | 40 部活                       |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 常滑市中学校部活動・地域移行のあり方検討委員会を設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 常滑市地域クラブ取組方針を策定済            |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市は南北に長い地形を有しており、中学校は4校ある。中央に位置する中学校は土地開発に伴い人口が多いが、北部・南部の中学校では人口減少が進行しており、部活動の種目数や参加人数が減少傾向にあるため、部活動の維持が課題として挙げられている。

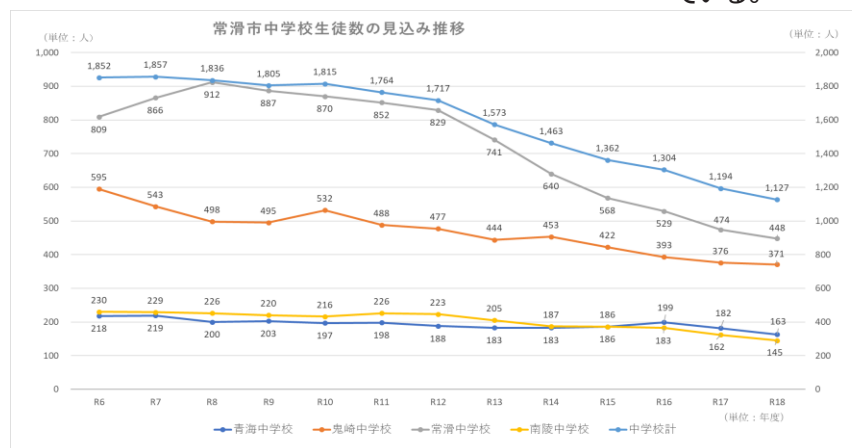
こうした現状を踏まえ、本市では中学校の部活動に関し、令和5年度から令和7年度までの3年間で「改革推進期間」とする国のガイドラインに基づき、『休日部活動の地域移行』を、サッカー、剣道、卓球、柔道、吹奏楽の各種目において試行してきた。そのような中、今年度は生徒、保護者、教職員を対象にアンケート調査を実施し、文化・

に関係者による部活動のあり方検討委員会を設置し、市の今後の方針について検討してきた。

検討委員会においては、どのような体制であれば持続可能な部活動改革が実現できるかを議論し、最終的に令和8年9月より既存の地域団体の活動に参加する形で地域クラブ活動を推進する方針を示した。

今後は各団体との連携を図り、地域クラブとして持続可能な体制整備を推進していく。

また、参加は生徒の自由意志によるものであり、受益者負担の公平性の観点から、将来的には保護者へ参加費の負担を求めている。



### 【課題】

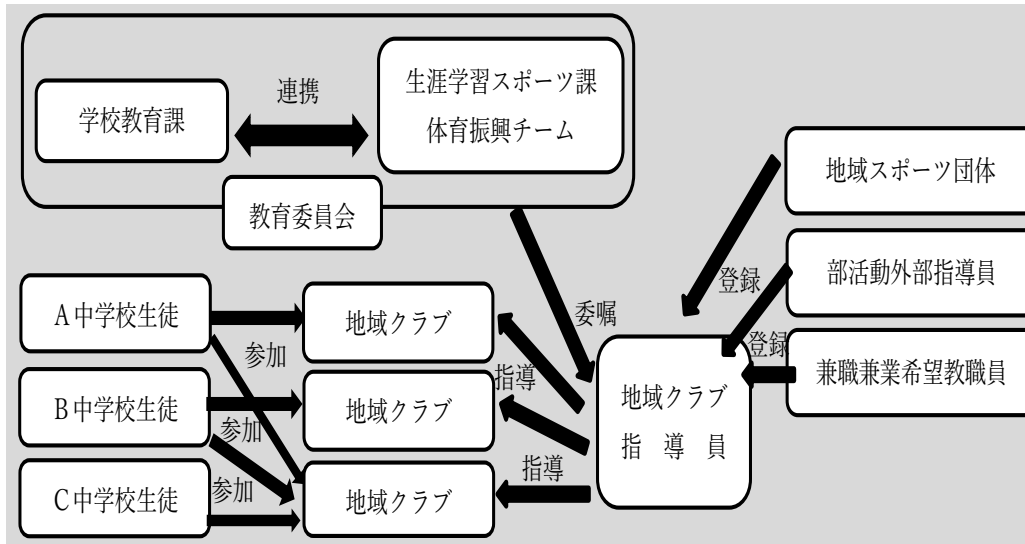
常滑市の生徒数の予測推移を鑑みると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

グラフ出典：常滑市教育委員会より

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、文化部地域クラブの活動・運営、学校との連絡調整、地域クラブ活動の環境整備
- ・生涯学習スポーツ課…運動部地域クラブの活動・運営、関係団体・学校・保護者との調整、地域クラブ活動の環境整備

##### ◎首長部局

- ・財政課…予算措置

### 年間の事業スケジュール

|         |                                                                          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年4月  | 地域クラブ活動の開始（サッカー・剣道）（令和5年度から継続）                                           |
| 令和6年5月  | 種目増に向けて関係団体・部活動顧問との検討会議の開催                                               |
| 令和6年6月  | 関係団体へ受入アンケートを実施                                                          |
| 令和6年7月  | 市内全中学校長説明会<br>地域クラブについて保護者通知<br>第1回部活動・地域移行あり方検討委員会を開催<br>生徒アンケートを実施（剣道） |
| 令和6年8月  | 保護者説明会（柔道・卓球）<br>部活動の地域移行に関するアンケート                                       |
| 令和6年9月  | 地域クラブ活動の開始（柔道・卓球）（令和6年度追加種目）                                             |
| 令和6年10月 | 第2回部活動・地域移行あり方検討委員会を開催                                                   |
| 令和6年11月 | 第3回部活動・地域移行あり方検討委員会を開催                                                   |
| 令和6年12月 | 指導員・生徒・保護者アンケートを実施（サッカー・剣道・柔道・卓球）                                        |
| 令和7年1月  | 指導員意見交換会を開催                                                              |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |               |
|----------|----------------------------------------------|-------------|---------------|
| 中学校数     | 4 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 10 クラブ        |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 10 クラブ（14 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 0 クラブ         |
| 全体の指導者数  | 58 人                                         | 全体の運営スタッフ数  | 2 人           |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名           | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数    | 実施時間帯 | 参加者<br>（学年別）                      | 実施期間                          | 活動場所     | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|----------------|--------|-------------------------|---------|-------|-----------------------------------|-------------------------------|----------|------|----------------------|----|--------|
| 常滑市地域クラブ鬼崎サッカー | 教育委員会  | サッカー                    | 月 4 回程度 | 午前中   | 1 年生 4 人<br>2 年生 16 人<br>3 年生 4 人 | 4 月から<br>3 月まで<br>（8 月の活動はなし） | 鬼崎中グラウンド | 4 人  | 2 人<br>（内、兼務 2 人）    | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ常滑サッカー | 教育委員会  | サッカー                    | 月 4 回程度 | 午前中   | 1 年生 4 人<br>2 年生 11 人<br>3 年生 8 人 | 4 月から<br>3 月まで<br>（8 月の活動はなし） | 常滑中グラウンド | 14 人 | 2 人<br>（内、兼務 2 人）    | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ南陵サッカー | 教育委員会  | サッカー                    | 月 4 回程度 | 午前中   | 1 年生 9 人<br>2 年生 9 人<br>3 年生 11 人 | 4 月から<br>3 月まで<br>（8 月の活動はなし） | 南陵中グラウンド | 4 人  | 2 人<br>（内、兼務 2 人）    | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ鬼崎剣道   | 教育委員会  | 剣道                      | 月 4 回程度 | 午前中   | 1 年生 7 人<br>2 年生 4 人<br>3 年生 7 人  | 4 月から<br>3 月まで<br>（8 月の活動はなし） | 鬼崎中剣道場   | 6 人  | 2 人<br>（内、兼務 2 人）    | 無料 | 部活動    |



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名         | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数    | 実施時間帯 | 参加者<br>（学年別）               | 実施期間                   | 活動場所   | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|--------------|--------|-------------------------|---------|-------|----------------------------|------------------------|--------|------|----------------------|----|--------|
| 常滑市地域クラブ常滑剣道 | 教育委員会  | 剣道                      | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 3人<br>2年生 8人<br>3年生 3人 | 4月から3月まで<br>（8月の活動はなし） | 常滑中剣道場 | 6人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ南陵剣道 | 教育委員会  | 剣道                      | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 6人<br>2年生 4人<br>3年生 6人 | 4月から3月まで<br>（8月の活動はなし） | 南陵中剣道場 | 5人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ鬼崎柔道 | 教育委員会  | 柔道（新）                   | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 7人<br>2年生 9人<br>3年生 3人 | 9月から3月まで               | 鬼崎中柔道場 | 4人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ常滑柔道 | 教育委員会  | 柔道（新）                   | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 12人<br>2年生 3人          | 9月から3月まで               | 常滑中柔道場 | 4人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ鬼崎卓球 | 教育委員会  | 卓球（新）                   | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 16人<br>2年生 15人         | 9月から3月まで               | 鬼崎中卓球場 | 6人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |
| 常滑市地域クラブ南陵卓球 | 教育委員会  | 卓球（新）                   | 月 4 回程度 | 午前中   | 1年生 13人<br>2年生 12人         | 9月から3月まで               | 南陵中卓球場 | 5人   | 2人<br>（内、兼務2人）       | 無料 | 部活動    |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 体験会やイベント等は開催していない。

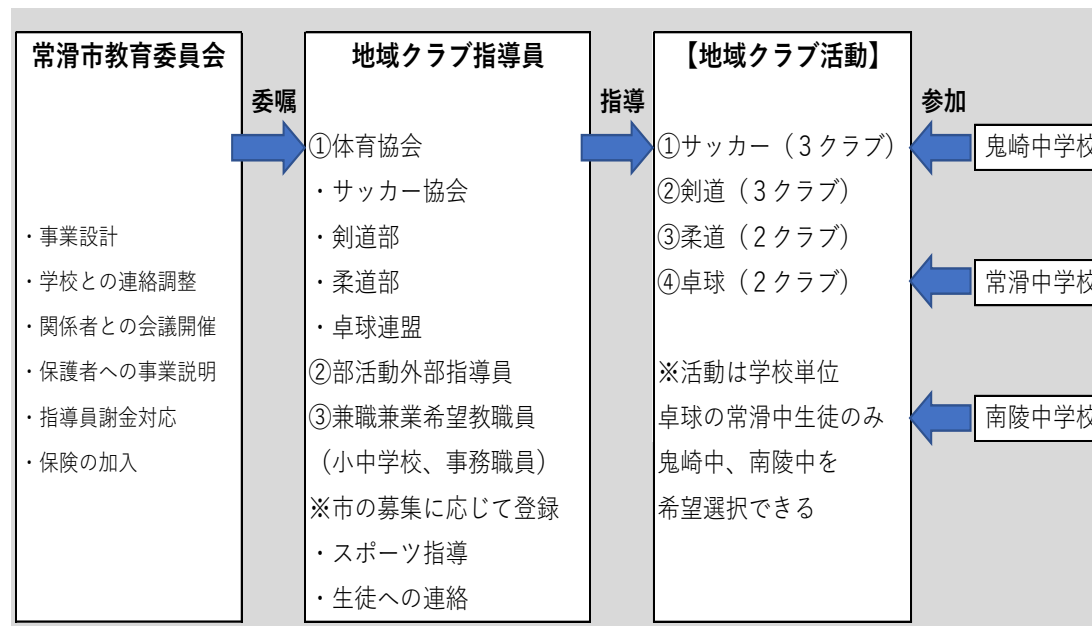
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●常滑市地域クラブ 活動概要

|                 |                                                         |
|-----------------|---------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | サッカー、剣道、柔道、卓球                                           |
| 運営団体名           | 常滑市教育委員会                                                |
| 期間と日数           | サッカー・剣道：4月～3月<br>月4回程度（8月は活動休止）<br>柔道・卓球：9月～3月<br>月4回程度 |
| 指導者の主な属性        | 常滑市体育協会、部活動外部指導員<br>学校教職員                               |
| 活動場所            | 鬼崎中学校、常滑中学校<br>南陵中学校                                    |
| 主な移動手段          | 自転車、保護者送迎                                               |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 無料                                                      |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年         |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●運営事務局 2人

役割：学校、保護者、指導者との連携、指導者謝金支払いなどを行う

##### ●主指導者 10名

役割：指導、実績報告の作成、提出を行う

##### ●運営補助者 48名

役割：主指導者を補助して、指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○学校部活動顧問、体育協会との検討会議において、地域クラブ活動の立上げに向けた意見交換を行った。

○活動現場の視察

○アンケートを実施し、指導者、参加生徒、保護者の地域クラブ活動に対する意見交換を行った。

##### 取組の成果

○学校部活動顧問、体育協会、教育委員会の3者で地域クラブ活動の立上げに向けて検討会議を複数回開催し、新たに2種目（柔道・卓球）の地域クラブの活動を始めることができた。

※部活動生徒数：柔道 鬼崎中31名、常滑中20名

卓球 鬼崎中47名、常滑中95名、南陵中33名

○地域クラブの活動の場に出向いて、指導員とのコミュニケーション機会を設けることで、現場の中でどのような課題が生じているのか把握するための有効な機会となった。

○指導員58名、参加生徒とその保護者218組を対象にアンケートを実施。地域クラブ活動になってよかったこととして、競技経験がある指導者から教えてもらえることで、技術の向上を感じている。他の学校の生徒と交流することができるなどの意見が寄せられた。一方で、他の学区までの移動については、生徒、保護者ともに移動、送迎に負担を感じている。参加費の負担については、無料から習い事程度までと、指導員、保護者共に、個人の考え方ではっきり分かれる結果となった。

##### 今後の課題と対応方針

○種目単位で関係者と検討会、意見交換会を開催することは、新たな活動を開始、拡大するうえで必要な機会であるが、種目ごとに抱える課題は共有が難しいことから、打ち合わせの頻度や形式の見直しは必要があると考える。

○地域クラブ活動は、部活動の延長であると捉える保護者、教職員が一定数おり、参加費の金額をはじめ、考え方に差が生じる要因にもなっている。地域クラブ活動について定期的な広報を行うなどして周知していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

○競技経験のある指導者を確保するため、部活動外部指導員、体育協会に加入しているメンバーを指導者として採用した。

○地域クラブの活動に意欲のある部活動顧問の参加を受け入れるため、兼職兼業の希望を認めた。

##### 登録者属性

体育協会、部活動外部指導員45人

兼職兼業教職員13人

##### 種目

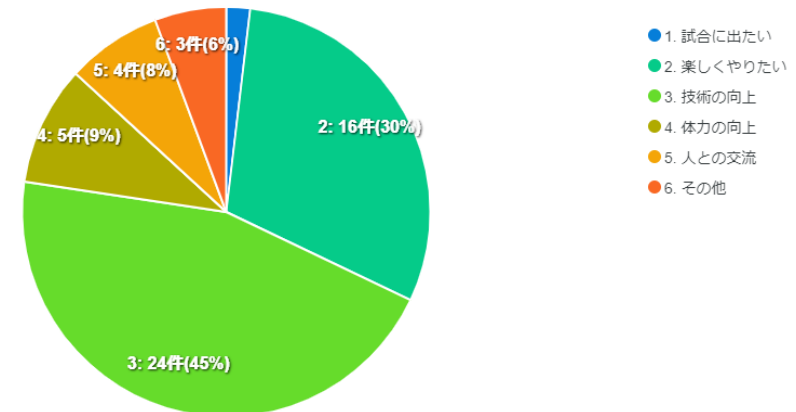
・サッカー  
・剣道  
・柔道  
・卓球

##### 資格有無

・部活動外部指導員

##### 取組の成果

○競技経験のある指導者が指導すること、指導員の人数が増えたことで、全体的に目が届く練習を行うことが可能になった。また、12月から1月にかけて実施したアンケートに回答した生徒53名のうち24名は「地域クラブに求めるもの」として、技術の向上と回答しており、生徒のニーズにあった活動を行うことができた。



出典:常滑市教育委員会より

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

○体育協会関係者、部活動外部指導員など地域で活躍するスポーツ指導者と関係を構築するため、各種会議（検討会（5回）、意見交換会（4回）、体育協会説明会（1回））を開催し、活動現場にも出向くなど連携強化を進めた。

また、学校と連携して進めていくため、中学校長説明会を開催した。

##### 取組の成果

○中学校校長会で取組方針を説明し、協力を求めることで、取組みに対する部活動顧問が協力的であった。  
○体育協会説明会、中学生の受入に対するアンケートの実施などを通じて、部活動地域移行の周知を行うことができた。

○連携を図ったすべての団体・分野から、指導員を委嘱することができ、結果として当初予定していた時期から活動を開始することができた。

○部活動顧問、参加生徒の口コミなどによって、活動途中でも参加したいという生徒がいた。

##### 今後の課題と対応方針

○コミュニティバスの運行との連携といった、公共交通の分野での連携は必要であると考え。しかしながら、コミュニティバスの路線上に活動場所が無い場合、他の方法も含め検討を続けていく必要がある。

○関係団体、中学校など各分野への連携強化は、指導員の確保、平日部活動と休日の地域クラブ活動との連携に直結することから、今後も非常に重要である。専任の全体調整役となる人材を確保することで安定的な連携強化が進められると考えるが、人件費など事業費の増加につながることから、予算確保に向けた内部調整が必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

○卓球は、常滑中学校生徒に対して、鬼崎卓球、南陵卓球のどちらか選択する方式にした。

○当該種目の部活動が存在しない1中学校（青海中学校）の全校生徒に対して、地域クラブ活動のとりくみの周知と参加募集を行った。

##### 各自治体の役割

○常滑市教育委員会  
 ・地域クラブ運営、予算管理  
 ・関係団体との連絡・調整  
 ・部活動改革の方針策定  
 ・学校関係者に対する説明  
 ・児童生徒保護者に対する広報  
 ・謝金等の支払い

##### 移動手段

○自転車、保護者による送迎

##### 事務局運営の方法

○教育委員会職員が地域クラブ活動事務局を担う。

##### 取組の成果

○当該種目の部活動に所属する生徒を対象に活動していたが、昨年度の活動実績を基に、今回、種目の無い青海中学校（生徒数247名）にも募集をすることができた。  
 ○卓球は、常滑中学校生徒に対して、鬼崎卓球、南陵卓球のどちらか選択する方式とした。 ※常滑中生徒（卓球）選択先・・・鬼崎卓球 16名  
 南陵卓球 12名

##### 今後の課題と対応方針

○通年、学区外の活動場所へ通うことは生徒の負担にもなっている。保護者の送迎の負担と合わせ課題として検討をする必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

○可能な範囲で、レベル別指導をするようにした。

○クラブ間の合同練習を行い、普段とは違う相手と練習することで、経験の幅を広げるようにした。

○日頃の練習の成果、仲間同士の練習だけでは発見できない課題の洗い出しと、練習の成果を発揮する場として、市外中学校、他のクラブチームと練習試合を行った。

##### 活動の詳細

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------|--|----|----|-----|--|------------|----|------------|------|---------|--|-----|----------|--|----|------------|
| 参加人数   | 218 人                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 指導者数       | 58 人 |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 属性     | 体育協会、部活動外部指導員、兼職兼業教職員                                                                                                                                                                                                                                                                            |            |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 具体的な内容 | ・他クラブ、他中学校との合同練習、練習試合<br>・レベル別メニュー<br>・クラブ内学校別交流試合                                                                                                                                                                                                                                               |            |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 子供の声   | <ul style="list-style-type: none"><li>● コーチが増えてポジションごとの練習ができるようになった。</li><li>● 学校内リーグ戦の頻度は減ったが、他校の人との試合形式の練習ができていい。</li><li>● 地域クラブ活動では、細かく丁寧に教えてもらえる。</li><li>● 学校ではサーブやレシーブなどのやり方を詳しく教えてくれて、前より上手になった。</li></ul>                                                                               |            |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 関係者の声  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 練習内容が変わり、より技術的な指導を受けられるようになった。地域の大人の方や他学校の生徒と交流でき、社会勉強になる。</li><li>● 他校生徒とのコミュニケーションを取ってほしい。</li></ul>                                                                                                                                                   |            |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 運営経費   | <table><tr><td></td><td>項目</td><td>費用</td></tr><tr><td rowspan="3">活動費</td><td></td><td>2,621,608円</td></tr><tr><td>謝金</td><td>2,545,200円</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>76,408円</td></tr><tr><td></td><td>保険料</td><td>281,010円</td></tr><tr><td></td><td>合計</td><td>2,902,618円</td></tr></table> |            |      |  | 項目 | 費用 | 活動費 |  | 2,621,608円 | 謝金 | 2,545,200円 | 消耗品費 | 76,408円 |  | 保険料 | 281,010円 |  | 合計 | 2,902,618円 |
|        | 項目                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 費用         |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
| 活動費    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 2,621,608円 |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
|        | 謝金                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 2,545,200円 |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
|        | 消耗品費                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 76,408円    |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
|        | 保険料                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 281,010円   |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |
|        | 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 2,902,618円 |      |  |    |    |     |  |            |    |            |      |         |  |     |          |  |    |            |



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

・市の方針を定めるため、全体の小中学生の意向を確認するために小学5、6年生、中学1、2年生（計2,103名）及びその保護者、中学校教職員を対象にアンケートを行った。

##### <結果>

#### ①児童・生徒（小5～中2）

地域クラブ活動は、競技志向・勝利至上主義ではなく、人生を楽しく豊かにするため、適度に参加したい傾向

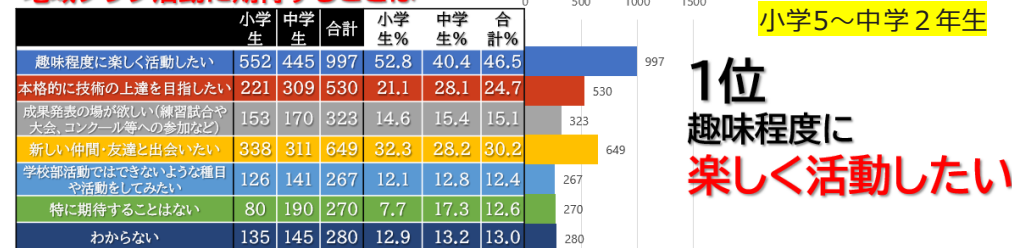
#### ②保護者

技術向上や精神面で強くなることを望む声強い傾向にあるものの、楽しさや仲間づくりを最も重視（送迎・経済面、けが等緊急対応への不安も）

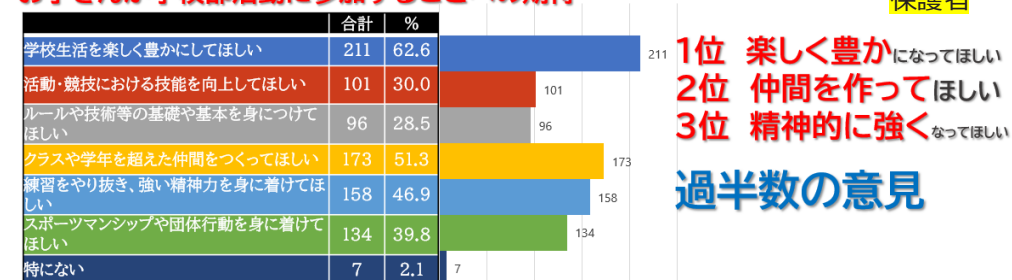
#### ③教職員

やりがいはあるが、プライベート時間が削られ、大会引率などの負担大

#### 地域クラブ活動に期待することは



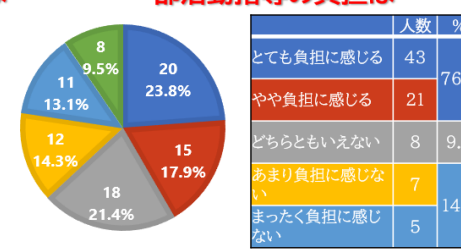
#### お子さんが学校部活動に参加することへの期待



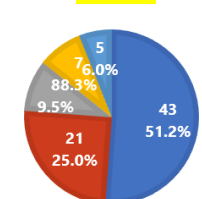
#### 部活動指導のやりがいは



#### 部活動指導の負担は



#### 教職員



出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より

#### 今後の課題と対応方針

○児童・生徒からは、「趣味程度に楽しく活動したい」という意見が最も多いが、内訳で見ると小学生では52.8%、中学生では40.4%と減少している。一方、本格的に技術の上達を目指したいという意見は、小学生では21.1%、中学生では28.1%と増加していることが確認でき、成長や、部活動、地域クラブ活動に参加することで意識が変化するのが見て取れる。これらの生徒の意識をくみ取るような指導・活動の在り方が求められる。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、今後の活動経費の試算を行った。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

- ・備品購入費（競技体験用具）  
卓球ラケット 1セット2千円  
剣道防具竹刀 1セット8万円  
柔道着 1セット1万1千円
- ・消耗品（ボールなど）  
ピン球（卓球）1セット（600球）4万円
- ・事務用品（パソコン、プリンターなど）20万円

##### ■ランニングコストの分析

1種目を1年間活動した際の費用を想定  
支出額（48回分）

|        | 項目   | 費用         |
|--------|------|------------|
| 活動費    |      | 1,096,800円 |
|        | 謝金   | 1,036,800円 |
|        | 消耗品費 | 60,000円    |
| 保険料    |      | 58,500円    |
| 事務局運営費 |      | 180,000円   |
|        | 人件費  | 120,000円   |
|        | 消耗品費 | 60,000円    |
| 合計     |      | 1,335,300円 |

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

○地域クラブの活動を支えるためには受益者負担（参加費）の負担が欠かせないことから、現実可能性を想定した試算をした。  
（詳細は次のページ参照）

##### 収支バランス

○地域クラブの活動を支えることができるよう試算を行った。  
（詳細は次のページ）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

【支出】 (単位：円)

| 項目      | 費用        | 割合  |
|---------|-----------|-----|
| スポーツ活動費 | 1,142,200 | 76% |
| 諸謝金     | 1,036,800 | —   |
| 会場使用料   | 50,400    | —   |
| 消耗品     | 55,000    | —   |
| 交通費     | 0         | —   |
| スポーツ保険料 | 58,500    | 4%  |
| 生徒      | 40,000    | —   |
| 指導員     | 18,500    | —   |
| 事務局運営費  | 300,000   | 20% |
| 人件費     | 120,000   | —   |
| 通信運搬費   | 120,000   | —   |
| 消耗品     | 60,000    | —   |
| 合計      | 1,500,700 | —   |

- ・すべての活動費を受益者負担 ⇒
  - ・活動費、保険料を受益者負担 ⇒
  - ・諸謝金のみを受益者負担 ⇒
- 算出根拠 ⇒

| 月謝       | 1回ごと   |
|----------|--------|
| 2,501円/月 | 625円/回 |
| 2,001円/月 | 500円/回 |
| 1,728円/月 | 432円/回 |
| 費用/①/②   | 費用/③   |

|           |        |
|-----------|--------|
| ① 活動月数    | 12か月   |
| ② 申込者数    | 50人    |
| ③ 延べ参加者数※ | 2,400人 |

※月4回活動

⇒ 想定50人  
 ⇒ 想定10人

##### 今後の課題と対応方針

○競技種目ごとに道具に係る費用はさまざまであることから一律的な試算は難しい。そこで、上記の試算は、競技に関する道具は自分持ちであることを前提に試算している。次ページにアンケート調査の内容から、保護者が許容できる月謝の金額は3,000円程度との意見が多かったため、支出全額を受益者負担で賄っても地域クラブ活動の運営は可能と考えられる。一

方で、部活動のイメージが強く、無料という意見も少なくはない。できるだけ保護者の負担を抑えるためには、公費で賄うことも選択肢であるが、参加人数が少ない場合には、運営費を公費に頼ることになり、参加者が確保できる種目とそうでない種目の間で不公平にならないような支援内容を考える必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

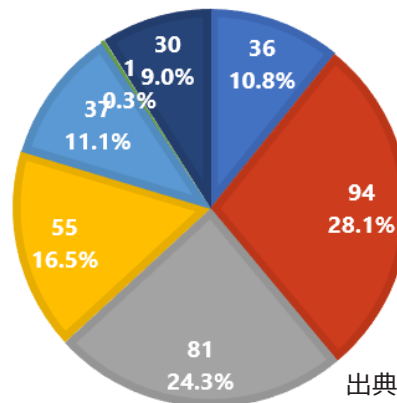
#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

##### 資料

#### 保護者アンケート

#### 1か月あたりの費用負担は

|                | 合計 | %    |
|----------------|----|------|
| 100～500円まで     | 36 | 10.8 |
| 600～1,000円まで   | 94 | 28.1 |
| 1,000～2,000円まで | 81 | 24.3 |
| 2,000～3,000円まで | 55 | 16.5 |
| 3,000～5,000円まで | 37 | 11.1 |
| 5,000円以上       | 1  | 0.3  |
| 無料             | 30 | 9.0  |



1位 600～1000円  
2位 1000～2000円  
3位 2000～3000円

3000円以内が8割

出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より

#### 地域クラブ活動に関する市の支援（今後、検討が必要）

##### ① 団体への支援

- 中学生受入のための体制整備に関する補助：備品の整備、その他準備に係る費用 など
- 指導者に関する支援：指導者の確保、指導者育成のための支援 など

##### ② 参加者への支援

- 地域クラブに関する周知
- 経済的に参加が困難な生徒への支援等

出典：常滑市議会令和6年12月協議会資料より

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすること、  
競技会場としての充実度、生徒の安全確保を念頭に、学校体育施設で  
実証事業の活動を実施するよう調整を行なった。

○中学校長説明会や、中学校を訪問した際に、事業への協力及び施設  
の利用について調整を行った。

##### 取組の成果

グラウンド、剣道場、柔道場、卓球場は教室棟と分離されており、部外者が教室棟に出入りする心配もないこと、学校体育施設開放事業でも活用している実績から、学校側としても快く施設利用を認めてくれた。

ただし、常滑中学校においては**剣道場、柔道場、卓球場が教室棟と分離されておらず、他校生徒や一般の指導員が校舎内を通行する必要がある場合に、セキュリティ上の課題があり、教職員による管理、監督が必要であるとされたため、部活動顧問に、地域クラブ指導員として参加していただくことで活動会場として確保することができた。**

施設、備品については、授業、部活動で使用している物を、使わせてもらえるよう協力をお願いし、卓球のピン球のような消耗品については、地域クラブ専用に用意することで理解を得た。

活動中の施設、設備の破損は、地域クラブで加入しているスポーツ安全保険を活用して修繕することとした。

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブの種目数、クラブ数が増えるほど活動場所の問題が発生すること  
とは考えているが、令和8年9月の休日部活動の終了に伴い生じる施設  
の空き時間は、学校体育施設開放事業の枠に組み込み、地域クラブ活  
動に優先的に割り当てるなどの方策を検討して会場確保をしていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

参加生徒、保護者、指導員、スポーツ団に意見聴取するためアンケート調査を次のとおり実施した。

##### ①部活動地域移行に伴う中学生の受入可能団体の調査

期間:6月4日～6月25日

対象者:体育協会、スポーツ少年団

##### ②常滑市地域クラブ活動（試行）（剣道）参加者アンケート

期間:7月19日～8月2日

対象者:地域クラブ活動剣道に参加する生徒、保護者47組

##### ③部活動の地域移行に関するアンケート調査

期間:7月12日～8月19日、児童生徒は7月19日まで

対象者:小中学生1,230人、保護者1,241人、教職員129人

##### ④令和6年度地域クラブ活動（試行）について指導員アンケート

期間:12月25日～1月14日 対象者:指導員58人

##### ⑤令和6年度地域クラブ活動（試行）に関するアンケート

期間:12月25日～1月14日 対象者:参加生徒・保護者218組

##### 取組の成果

①部活動地域移行に伴う中学生の受入可能団体の調査では、右の表から受入可能性について消極的な種目の意向として、指導者が確保できないという事情がわかる。また、既存の活動時間内での受入れであれば可能などの意向も確認できた。

出典：常滑市中学校部活動・地域移行のあり方検討委員会資料より  
部活動地域移行に伴う中学生の受入可能性団体の調査（参考）

| 団体名        | 意 向                                         | 部 活 | 受入可能性 |
|------------|---------------------------------------------|-----|-------|
| サッカー協会     | 令和5年度から現在まで試行中                              | ○   | ○     |
| 剣道部        | 令和5年度から現在まで試行中                              | ○   | ○     |
| 卓球協会       | 令和6年度から現在まで試行中                              | ○   | ○     |
| 柔道部        | 令和6年度から現在まで試行中                              | ○   | ○     |
| ソフトテニス連盟   | テニスコートの確保<br>(中学校のコートが必要)                   | ○   | ○     |
| 空手道少年団     | 既存の活動時間内であれば可                               | ×   | ○     |
| レスリング協会    | 既存の活動時間内であれば可<br>1か所での実施<br>他のクラブ員と同じ年会費の徴収 | ×   | ○     |
| 弓道部        | 中学生が使用できる弓具の用意<br>人数上限10名まで                 | ×   | ○     |
| バスケットボール協会 | 既存の活動時間内であれば可                               | ○   | ○     |
| 軟式野球部      | なし                                          | ○   | ×     |
| 軟式野球少年団    | 小学生以下対象のため                                  | ○   | ×     |
| テニス部       | 競技部として指導者が確保できない                            | ×   | ×     |
| バレーボール部    | 競技部として指導者が確保できない                            | ○   | ×     |
| バレーボール少年団  | 少年団として受け入れできない                              | ○   | ×     |
| ソフトボール協会   | なし                                          | ○   | ×     |
| バドミントン部    | なし                                          | ×   | ×     |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



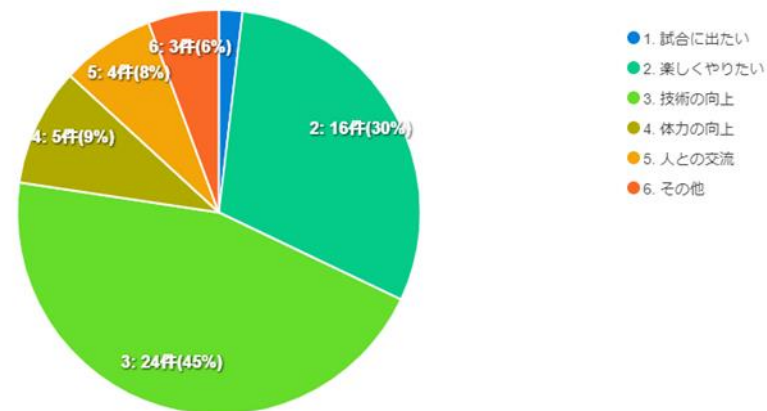
### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組の成果

⑤令和6年度地域クラブ活動（試行）に関するアンケートでは、対象者218人中53人が回答しており、生徒の地域クラブに求めるものについての問いには、楽しくやりたいが16人、技術の向上が24人、体力の向上が5人と、楽しくやりたいと思う生徒と合わせ、競技種目の技術を向上させ、上手になりたいという生徒の気持ちを把握することができた。このようなアンケート結果を指導員に提供することで、生徒が何を望んでいるのか、指導員自身が理解することができ、地域クラブ活動の指導内容に反映させることができた。

【生徒の皆さんが回答】地域クラブ活動に求めるものは何ですか。



出典：令和6年度地域クラブ活動（試行）に関するアンケートより

##### 今後の課題と対応方針

令和8年9月の休日部活動の終了に向けた、地域クラブ活動の体制づくりのために、関係団体、指導員、参加生徒とその保護者の意見を汲み取るツールとして引き続きアンケート調査を行っていく。特に、実際に参加する生徒が地域クラブに何を求めているか、どう感じているかの意識調査には、無記名かつデジタルツールを使用したアンケートは、声に出しにくい生徒でも気軽に意見を出せる有効的なツールとして必要であると考えている。



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度の地域クラブ活動は、サッカー、剣道は昨年度に引き続き取組みを継続し、新たに柔道、卓球の2種目の取組みを開始することができた。

柔道、卓球については、スポーツ団体の活動に新たに中学生を受入れてもらうことをした。これにより、中学生にとっても部活動と近い形で活動することができ、部活動から地域クラブ活動へのスムーズな移行の形を示すことができたと感じている。

今後の市の取り組み方針として、「見つけよう、スポーツ・文化活動への自分らしい参加の形」という基本理念の下、様々な活動の選択肢を提供し、地域のスポーツ・文化活動への参加を促進していく予定である。

特に、令和8年8月末をもって休日部活動を終了し、地域クラブ活動の正式運用を開始することを決定したが、その参加の形は、各種団体の既存の活動に参加する方式、「参加型」によることとした。

これは、柔道、卓球の活動が指導員にも、生徒にも負担が少ない方法であると、試行の取組みから得たものである。

#### ●成果の評価

##### <地域クラブ活動>

参加生徒が丁寧で質の高い指導を受けられたこと、部活動とは異なる環境で楽しく活動できたことなど、参加生徒のアンケートの結果から、地域クラブ活動を続けたいとの声が多かったことが、生徒の満足を得られる活動となっている表れであると捉え評価している。

##### <市の取り組み>

休日部活動の終了時期を明確化し、地域クラブの活動方針を生徒、保護者、教職員、地域スポーツ団体に示すことができた。休日部活動の終了と地域クラブ活動の方向性について示せたことは成果であると感じている。

#### ●今後に向けて

サッカー、剣道、柔道、卓球に続く新たな種目について地域クラブを立ち上げるとともに、以下の課題について取り組んでいく。

##### 1、生徒の移動、保護者の送迎の負担の軽減

移動、送迎の負担を少しでも軽減できるような地域クラブの運営方法を検討していく。

##### 2、生徒の満足度の向上

楽しくやりたい、技術を向上させたい、試合に勝ちたいなど生徒のニーズに沿う活動をしていく。

##### 3、地域クラブ活動に関する市の支援内容の整備

##### 4、指導員の確保・育成

生徒とのコミュニケーション、ハラスメントなど指導者研修会の開催して質の向上を図りながら、受講者を市の人材バンクに登録することで指導員の確保につなげていく。

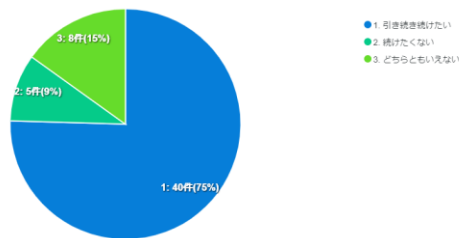


## 2.実証内容と成果②

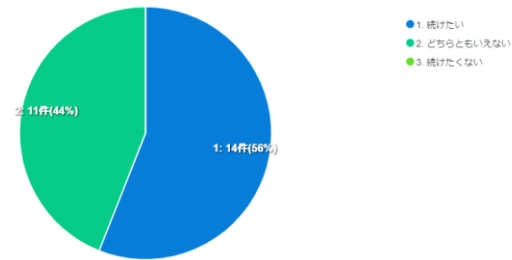
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

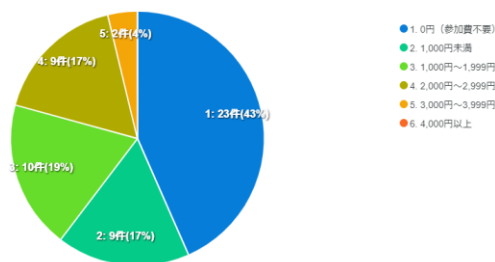
Q.【参加生徒】地域クラブ活動（試行）の参加について当てはまるものを選んでください。



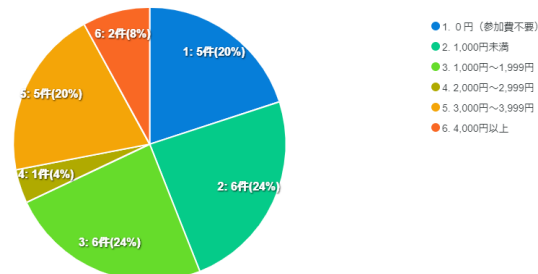
Q.【指導員】試行終了後も地域クラブ活動の指導員を続けたいと思いますか。



Q.【保護者回答】地域クラブ活動（試行）に参加費（月謝）が必要だとすると、どの程度が適当だと思いますか？



Q.【指導員】地域クラブ活動に参加費（月謝）が必要だとすると、どの程度が適当だと思いますか。



出典：令和6年度地域クラブ活動（試行）に関するアンケート  
令和6年度地域クラブ活動（試行）について指導員アンケートより

#### ●参加者の声

##### 中学2年生

コーチが丁寧に教えてくれるから。

##### 中学1年生

他に優先する習い事があるため、余裕があれば参加する

##### 指導員

クラブチームの良いところや卓球の楽しさをもう少し伝えたい。家族や応援してくれる方々への感謝やリスペクト、礼儀を教えたい。努力している選手に勝つ喜びを経験させてあげたい。私自身も中学校の時にボランティアの社会人の方々に練習をして頂いたから。

##### 保護者

指導者の方への謝礼、必要経費はお渡ししたいですが、家計への負担との兼ね合いは難しいところです。

##### 保護者

地域クラブ活動＝部活動の一貫として捉えているので、月謝がかかるようになるのであればやめさせます。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

**常滑市中学校の部活動改革**

**見つけよう！  
自分らしい参加の形**

令和8年8月に休日部活動は終了し、9月から地域クラブ活動が開始します

～常滑市の部活動改革について～

常滑市では、中学校の部活動に関し、令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」とする国のガイドラインに合わせて、常滑市の部活動改革を模索してきました。そこで、常滑市は、これまで参加していた子も新たに参加を考える子も含めて、様々な可能性を持つ子どもたちが生涯に渡って、地域のスポーツ・文化活動に参加できるように「常滑市地域クラブ」を推進します。

**どう変わっていくんだろう？**  
学校の部活動は平日のみの活動となり、土・日祝日に活動したい子は、地域のクラブ活動に参加します。

**いつから変わるの？**  
令和8年7、8月の県大会（コンクール）が終わった後の令和8年9月から変わります。

**平日の部活動はどうなるの？**  
平日の学校の部活動は今までと変わりません。（最大週3日）

**参加しないといけないの？**  
地域クラブ活動は、平日の部活動の延長ではなく、全く別の活動となりますので、参加するかどうかは自分で決めることができます。

**部活動と同じ種目をやるの？**  
同じ種目を選択してもいいし、別の種目を選択しても構いません。自分がやりたいやってみて活動を選びます。

**参加費はかかるの？**  
部活動ではないため、保険料や活動に係る経費などが、参加者の費用負担になります。活動によって費用は異なります。

【問合せ】学校教育課 TEL：0569-47-6129、生涯学習スポーツ課 TEL：0569-43-5111

【表】  
【生徒への参加啓発チラシ】

出典:常滑市教育委員会

～なぜ部活動改革を進めるのか～

部活動はこれまで、教職員が献身的な活動によって支えられてきました。しかし、急速な「少子化」による部活動の種目や所属人数の減少、さらには昨今の社会情勢の変化に伴う「教員の働き方改革」などの影響を受け、従来の体制を維持することが難しくなっています。

そこで国は、地域や学校によって子供たちの活動の場が格差が生じないように、地域の実情に応じた持続可能な活動環境の整備を目指し、部活動改革を進めることとしており、現在、全国各地で部活動改革が進められています。

令和8年9月からの活動イメージ

いろいろな活動を自由に組み合わせ、自身の目的に沿った活動を行うことができます

**平日**  
部活動  
サッカー部、野球部、剣道部、吹奏楽部、卓球部、ソフトテニス部、美術部など

**休日等**  
自由参加  
地域クラブ活動  
様々な団体による活動  
【社会教育活動】  
習い事、趣味、休憩、勉強など

※受け皿となる地域クラブは、今後、各団体と調整していきます。

**常滑市中学校の部活動改革 Q&A**

**Q** 地域クラブは、学校の部活動と何が違うの？  
**A** 大きな違いは、指導も学校の先生ではなく、それぞれの団体の競技経験者が行うことです。

**Q** どこで活動するの？  
**A** 活動場所は、所属する団体で異なります。学校で活動する場合もあれば、公民施設や、その他施設で活動する場合もあります。所属する団体によっては、活動場所までの送迎が必要となります。

**Q** いろいろな種目の活動に参加できるの？  
**A** 複数の種目の団体の活動に所属することができます。

**Q** 大会参加はどうなるの？  
**A** 学校の部活動からは、県大会（コンクール）とそれ以外大会への参加となります。それ以外大会に参加したい場合は、地域クラブから参加できますが、団体ごとに活動方針が違いため、自身の目的に合った活動方針の団体を選んでください。

**Q** 地域クラブ活動は、学校単位でやるの？  
**A** 活動内容によって異なります。特定の場所に集まって、活動する場合は、他校の生徒とも一緒に活動や交流ができます。

部活動改革の詳細は、市ホームページへ

【裏】

### 【アンケート結果】



### 部活動の地域移行に関するアンケート結果(R6.8現在)



出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【サッカー練習風景】



【剣道打ち込み練習】



【柔道技のかけ方指導】



【卓球基礎うち練習】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

#### 令和5年9月

まずは、剣道、サッカー、吹奏楽を対象に地域クラブ活動の実施を行い、本市にとって、どのような形の地域移行を実施すべきか検討を始めた。運動部については、常滑市体育協会に活動団体としての協力を得ると共に、部活動外部指導員、取り組みに協力してくれる教職員に、指導員となって協力していただいた。

#### 令和6年8月

児童生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを実施し、学校部活動や地域クラブ活動に対してどう考えているのか、意識調査を行った。

#### 令和7年4月

スポーツ団体、文化団体等と意見交換を行いながら、地域クラブの枠組みを具体化し、登録団体及び参加者への支援内容の整備を行い、学校、生徒、保護者等関係者へ周知を行う。

令和5年

地域クラブ活動  
の試行開始

令和6年

あり方検討委員  
会開始

アンケート実施、  
学校長との調整

教職員への周知、  
生徒、保護者へ  
の説明

令和7年

地域クラブ活動  
の支援体制など  
を整備

令和8年

地域クラブ活動  
の開始

#### 令和6年7月

教育長、体育協会会長、文化協会会長、小中学校PTA連絡協議会会長、教育委員（保護者選出）中学校長で構成される「部活動のあり方検討委員会」を立ち上げ、部活動改革の時期や実施に向けた検討を行い、地域移行の時期や地域クラブの方針（案）を形成した。

#### 令和7年1月

部活動のあり方検討委員会で決定した内容を基に市の方針を定め、教職員及び、新中学1年生及び現中学生とその保護者に周知を行った。

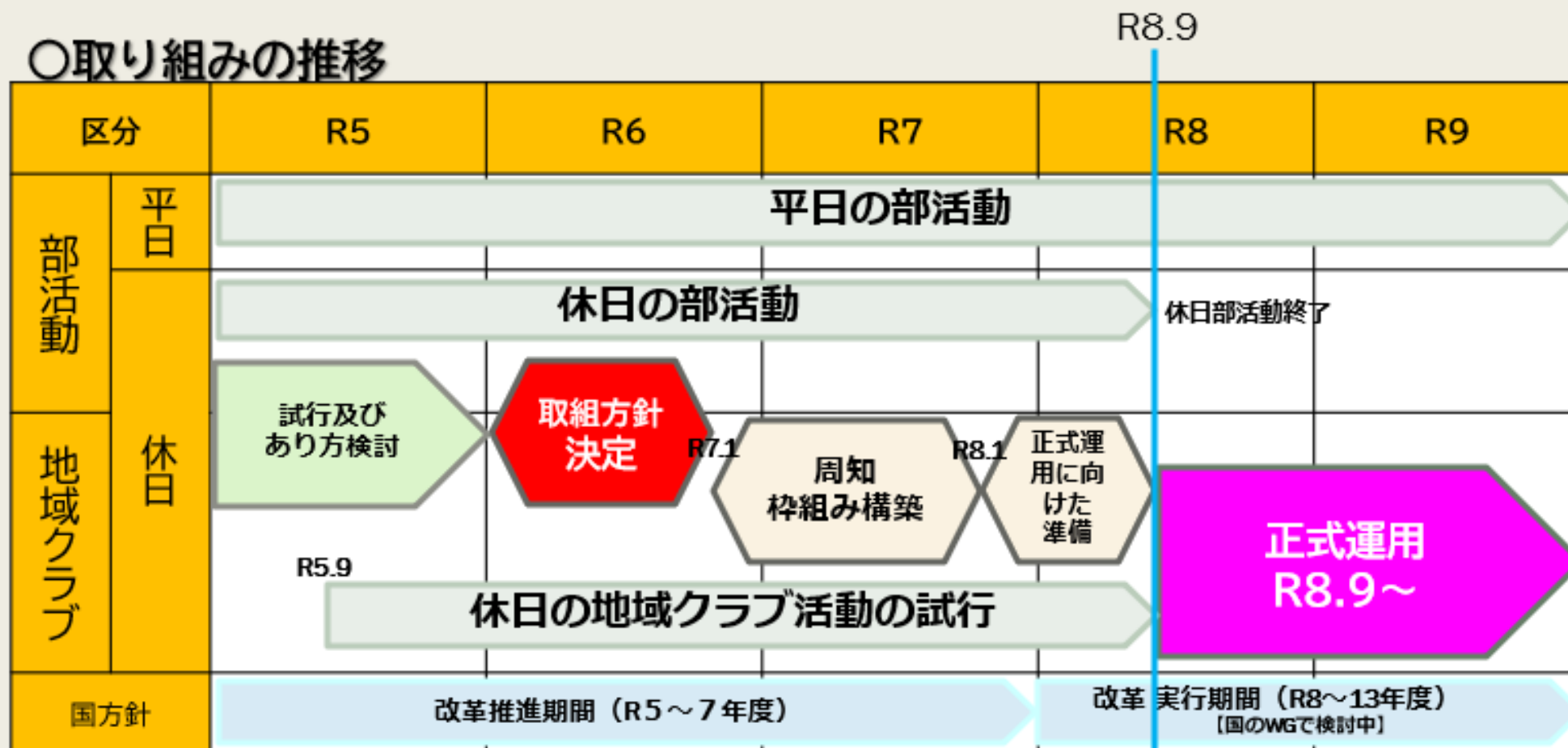
#### 令和8年9月

休日の部活動を8月末で終了し、9月から地域クラブ活動を正式に運用開始するとともに、学校部活動から出ることのできる大会は、郡大会規模の大会のみとする。

### 3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

#### ○取り組みの推移



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県 江南市

自治体名：愛知県江南市

担当課名：スポーツ推進課

電話番号：0587-55-5261



# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 30.20 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 98,013 人              |
| 公立中学校数                 | 5校                    |
| 公立中学校生徒数               | 2,568人                |
| 部活動数                   | 55部活                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                   |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 1. 地域人材の確保と総合型地域スポーツクラブとの連携の構築

江南市では、令和4年度から地域スポーツクラブ活動へ移行するため、国の動向や実践校の状況を確認しながら他市町の情報収集を行い、総合型地域スポーツクラブと連携しながら試行実践の取組を進めている。また、地域クラブ活動に携わる地域人材も64名程と少ないため、広報し人材の確保に努める必要がある。

### 2. 学校教職員の兼職・兼業制度を活用した地域スポーツ団体との連携の構築

学校教職員に丁寧に説明し理解を深めていくことが必要となっている。また、教職員と専門的な知識を

有する地域スポーツ団体との連携は必要である。

### 3. 参加者と保護者の地域スポーツ活動への理解

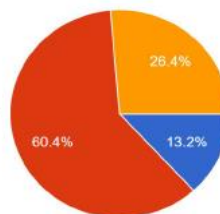
地域展開を進めるにあたり、参加費用の負担等は参加者と保護者の理解と協力を得るため、丁寧な説明が必要である。

### 4. 地域スポーツクラブ活動事業への取組に対する学校現場の協力体制の構築

地域クラブ活動を進めるためには、活動場所となる学校施設の借用と体育備品の借用が必要であり学校現場の協力体制の構築が必要となる。

休日に地域部活動が導入された場合に、兼業で地域人材として関わりたいか

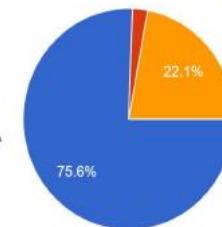
● はい  
● いいえ  
● どちらともいえない



R4市内教員アンケート

86 件の回答  
休日に、学校部活動に代わる地域部活動の導入を希望するか

● はい  
● いいえ  
● どちらともいえない

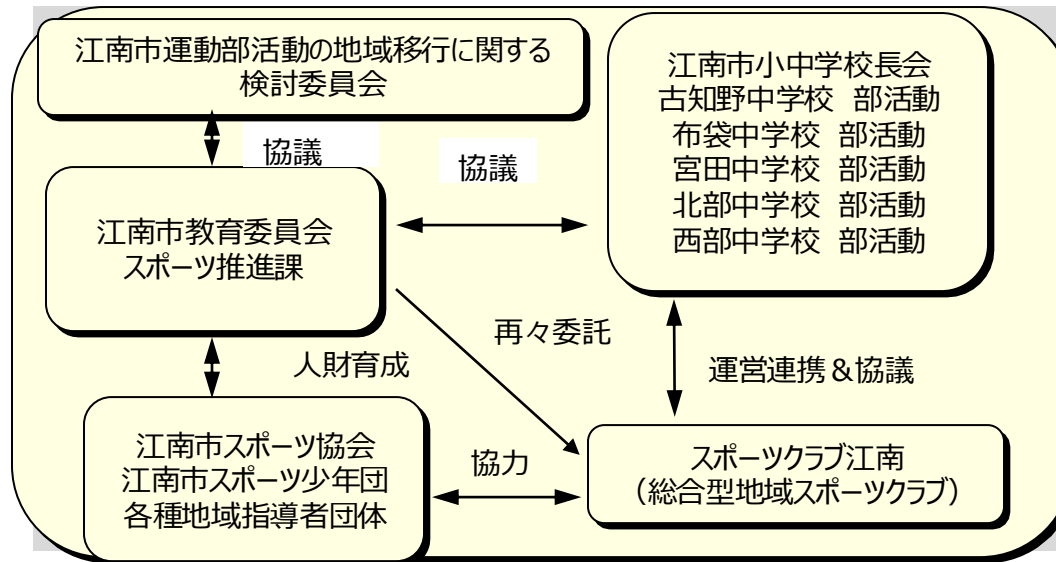


R4市内教員アンケート

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・江南市小中学校校長会及び各中学校部活動顧問会と連携し、試行実践を運営する総合型地域スポーツクラブに指導・助言等を行う。
- ・江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会の検討結果に基づき、持続可能な地域スポーツクラブ活動の体制づくりを目指す。

##### ◎首長部局

- ・総合型地域スポーツクラブが行う、地域スポーツクラブ活動の管理運営への支援及び地域指導者の確保に向けた調整を行う。

### 年間の事業スケジュール

|                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| 令和6年4月         | 地域クラブ活動の指導者説明会                  |
| 令和6年5月～2月      | 8競技種目において地域スポーツクラブ活動の試行実践を行う    |
| 令和6年7月         | 第1回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会開催     |
| 令和6年8月         | 第1回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会作業部会開催 |
| 令和6年8月         | 地域クラブ活動の指導者研修会                  |
| 令和6年9月         | 地域クラブ活動のアンケート実施                 |
| 令和6年10月        | 第2回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会開催     |
| 令和6年11月～令和7年1月 | 各中学校入学説明会で地域クラブ活動を説明            |
| 令和7年2月         | 第3回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会開催     |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |                                                   |
|----------|----------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------|
| 中学校数     | 5 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 8 クラブ                                             |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 7クラブ（ランニング・バスケットボール・ソフトテニス・バレーボール・ソフトボール・軟式野球・剣道） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 1クラブ（バドミントン）                                      |
| 全体の指導者数  | 64 人                                         | 全体の運営スタッフ数  | 3 人                                               |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名      | 運営団体種別       | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数  | 実施時間帯             | 参加者<br>（学年別）                          | 実施期間          | 活動場所             | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費               | 大会参加方法      |
|-----------|--------------|-------------------------|-------|-------------------|---------------------------------------|---------------|------------------|------|----------------------|------------------|-------------|
| スポーツクラブ江南 | 総合型地域スポーツクラブ | 7競技種目<br>1競技種目（新）       | 月 2 回 | 9時～12時<br>13時～16時 | 平均参加者数<br>1年生 6人<br>2年生 12人<br>3年生 5人 | 令和6年5月～令和7年2月 | 市内5中学校及び公共スポーツ施設 | 64 人 | 3 人<br>（内、兼務0人）      | 月会費<br>1,000 円／月 | その他：地域クラブ大会 |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 体験希望者があれば随時行っている。

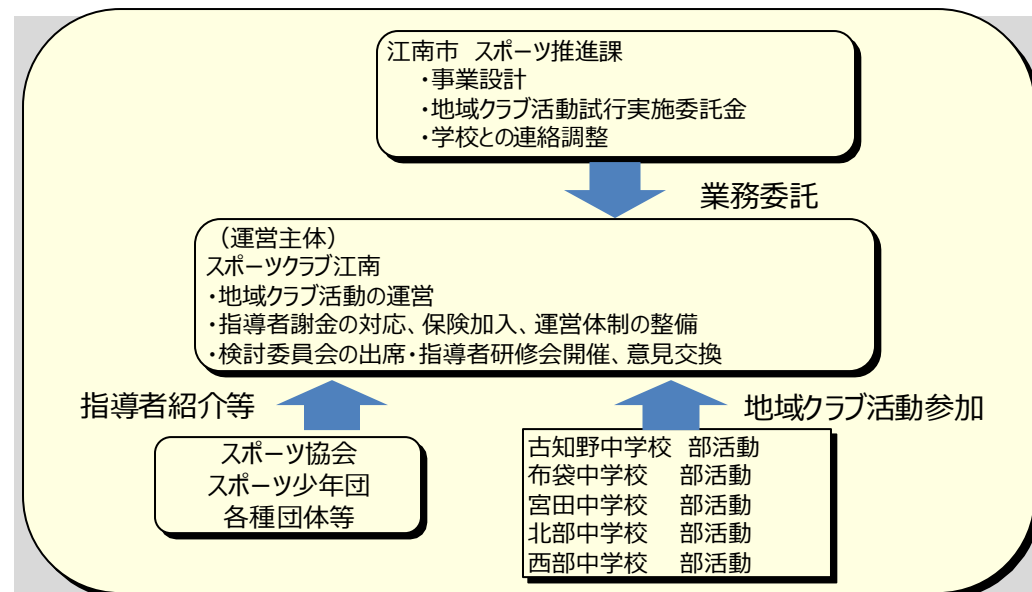
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●スポーツクラブ江南 活動概要

|                 |                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | ランニング、バスケットボール女子、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、ソフトボール、軟式野球、剣道                                                       |
| 運営団体名           | スポーツクラブ江南                                                                                                  |
| 期間と日数           | 全体：R6.5月1日～R7.2月28日<br>ランニング：月4回程度<br>バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、剣道：月2回程度<br>ソフトボール：月3回程度<br>軟式野球：月5回程度 |
| 指導者の主な属性        | 兼職兼業学校教職員・地域指導者                                                                                            |
| 活動場所            | 市内5中学校・公共スポーツ施設                                                                                            |
| 主な移動手段          | 自転車、徒歩、保護者送迎                                                                                               |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | ランニング：14,000円<br>バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、剣道：10,000円<br>ソフトボール：15,000円<br>軟式野球：40,000円                |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年                                                            |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者（コーディネーター）2名  
役割：活動における管理者として、学校、保護者、クラブとの連携を行う
- 主任指導者 8名  
役割：活動における主任者として、参加者への指導を行う
- 運営補助者 56名  
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

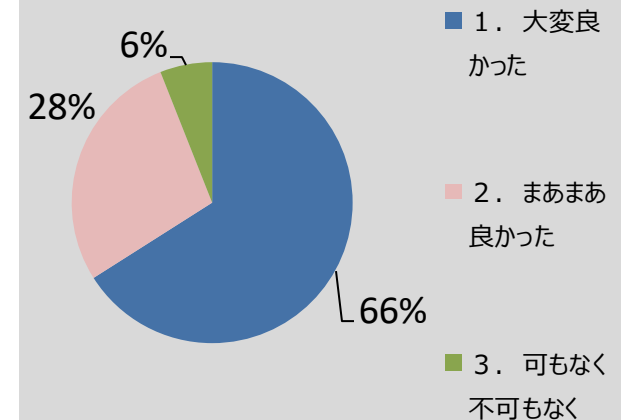
##### 取組事項

- ・地域スポーツクラブ活動にコーディネーター2名を配置し、関係団体・市・学校との連絡調整・指導助言を行う。
- ・運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
- ・参加者管理、会費徴収、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整、会計業務にICTを活用（導入費用：226千円）

##### 取組の成果

- ・コーディネーターを配置したことにより、運営する総合型地域スポーツクラブとスポーツクラブ活動指導者と参加者・保護者及び中学校現場との連絡調整をスムーズに行うことができた。
- ・スポーツクラブ活動への参加者申し込み用の申込フォームを作成して手続きの利便性を図ることができた。また、申込フォームのデータを活用して集金支援業務の名簿作成にも活用することができた。
- ・スポーツクラブ活動での参加者、指導者、保護者への連絡通信方法としてアプリを活用してスムーズな連絡調整を行うことができた。

参加したクラブの内容ははいかがでしたか。



出典：R6クラブ参加者アンケート

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・実施種目ごとに各クラブを巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施
- ・指導者研修会を実施し、指導者のスキルアップを図る
- ・中学校、参加者、指導者、クラブへの連絡調整を実施

##### 今後の課題と対応方針

- ・公的支援の対象となる地域クラブの基準がないため、今後、都道府県が示した地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、登録・指定等を実施する必要があると考える。
- ・地域指導者の人材発掘・育成・資質向上を図る方策の検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

・クラブ活動指導者として競技種目ごとに1回当たり2～3名を配置して、月毎にローテーションを組んで取り組む。クラブ活動指導者を希望する教師は兼職兼業の許可を得て地域指導者とペアで活動する。また、大学生の指導者も取り入れて量の確保を行う。

##### 人材バンクの人数

64名

##### 人材バンクの年齢構成

|       |     |
|-------|-----|
| 10代   | 1名  |
| 20代   | 16名 |
| 30代   | 8名  |
| 40代   | 25名 |
| 50代   | 10名 |
| 60代以上 | 4名  |

##### 登録者属性

|       |     |
|-------|-----|
| 職業    |     |
| ・教員   | 17名 |
| ・会社員  | 34名 |
| ・主婦   | 1名  |
| ・学生   | 12名 |
| 知人の紹介 | 98% |
| その他   | 2%  |

##### 種目

|          |     |
|----------|-----|
| ランニング    | 9名  |
| バスケットボール | 8名  |
| ソフトテニス   | 13名 |
| バレーボール   | 5名  |
| バドミントン   | 6名  |
| ソフトボール   | 5名  |
| 軟式野球     | 13名 |
| 剣道       | 5名  |

##### 資格有無

・教員免許資格  
・日本スポーツ協会指導員資格  
・

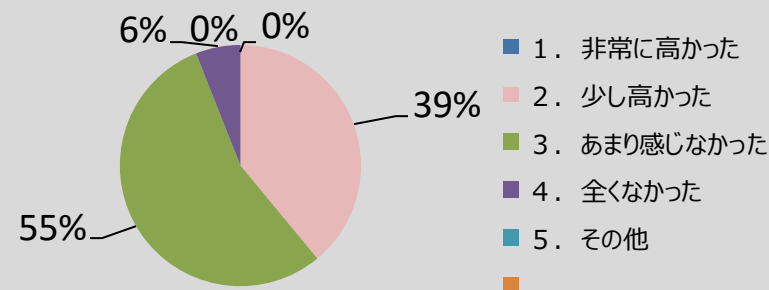
##### 取組の成果

・昨年までは、クラブ活動指導者として兼職・兼業の教師が17名と地域指導者が21名、大学生が9名であったが、兼職・兼業の教師は増減がなかったが、地域指導者が35名となり大学生が12名と増加した。

・8競技種目の内、6種目では月毎にローテーション組んで行うことができた。但し2競技種目では指導員不足なため同じ指導者が行うこととなった。

・兼職・兼業の教師が教え子の大学生に連絡を行い、補助指導者として量の確保を行うことができた。

指導者として参加するにあたっての負担・負荷はいかがでしたか。



出典：R6指導者アンケート



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

###### 【指導者研修】

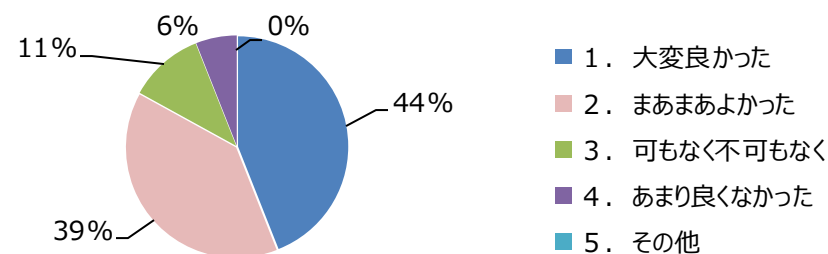
- ・対象：スポーツクラブ活動指導者、補助指導者
- ・目的：子どもたちが安全に、そして安心して、スポーツや文化的活動を心から楽しむ地域クラブ活動を創る。
- ・工夫をした点：研修会の参加を出席する方も、当日はオンラインでの参加も可能とした。また、研修会の内容をビデオ撮影して後日参加できなかった希望者に閲覧していただく形を採用した。

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日： 8月31日（土）
- ・開催場所：KTXアリーナ 会議室3. 4
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 20人 オンライン参加6名

##### 受講者の声

クラブ指導者として参加するにあたってはいかがでしたか。



出典：R6指導者アンケート

市内の子供たちが満遍なく参加しやすい環境や会場を検討して頂きたい。  
怪我をした際の対応を明確にしていきたい。  
クラブについての周知徹底を図り、参加者を増やせると良いと思います。

##### 今後の課題と対応方針

- ・江南市地域クラブ指導者登録フォームを作成したが、知名度が低い  
ため、広く周知・PRすることが必要と考えている。
- ・愛知県が開設している「部活動人材バンク」を活用して、指導者数の  
増加を図る必要があると考えている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

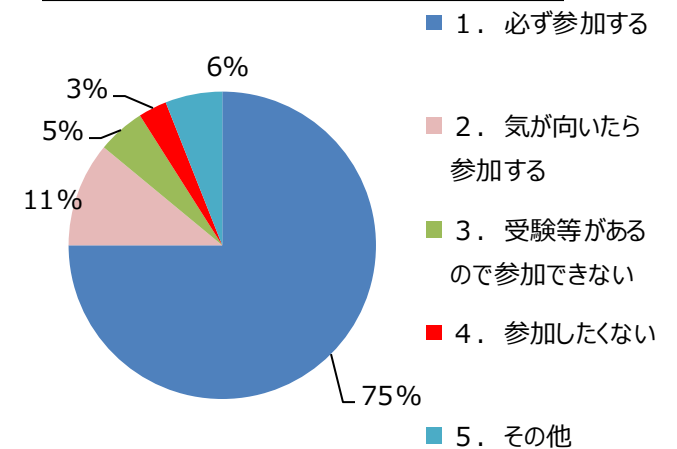
##### 取組事項

- ・学校と連携して進めていくため、中学校校長会や入学説明会等において、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施。
- ・指導者の派遣、施設の利用などについて、近在の高等学校と協議を行った。
- ・スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会との協議を行った。

##### 取組の成果

- ・中学校では、少子化により廃部となっている部活動もあり、スポーツ少年団で活動していた生徒が種目がないため異なる部活動を選択し、合同で活動することにより、活動の場を確保することができた。
- ・江南市スポーツ協会に所属する指導者へ、地域スポーツクラブ活動への取り組みなどを説明し、指導者の確保を図るなど運営主体となる総合型地域スポーツクラブと連携強化を行うことができた。

今後もクラブに参加しますか。



出典：R6 参加者アンケート

##### バス等の運行実績

- ・移動手段として徒歩、自転車、保護者送迎を主としているため、確認できるので実績なし。

##### バス等の運航経費・収入

- ・移動手段として徒歩、自転車、保護者送迎を主としているため、確認できるので実績なし。

##### 今後の課題と対応方針

- ・合同でクラブ活動を行うことにより、クラブ活動への参加機会の確保は行えるが参加者が多い種目への対応として、指導者確保や活動場所の確保が難しくなる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

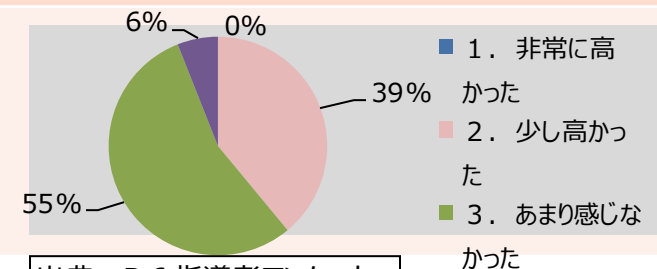
#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

・今年度は8競技種目においてスポーツクラブ活動を試行実践していますが、競技種目の中で軟式野球については指導者・参加者の希望を考慮して、開催回数及び開催時間を増やして活動を行った。

##### 活動の詳細

|        |                                                                                                                                                                                                                                |      |     |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 参加人数   | 前期 35人 後期 29人                                                                                                                                                                                                                  | 指導者数 | 13人 |
| 属性     | 軟式野球クラブ                                                                                                                                                                                                                        |      |     |
| 具体的な内容 | 活動回数 毎月5回開催 活動時間 1回当たり4時間<br>毎月3回から4回は市内中学校グラウンドで練習を行い、毎月1回から2回は市内公共スポーツ施設で紅白試合又は練習試合を行った。                                                                                                                                     |      |     |
| 子供の声   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 軟式野球について、より上手になった、また新しい技術を覚えることができた。</li> <li>● 楽しんでスポーツをすることができた。</li> <li>● 7月も休まずに活動してほしかった。</li> <li>● 校外の友人や指導者と知り合うことができた。</li> </ul>                                           |      |     |
| 関係者の声  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● クラブ開始時より生徒たちの技術が向上していたと感じられてよかったと思う。</li> <li>● 子どもたちが取り組んでいる姿を見ていて楽しい。</li> <li>● 暑い日は熱中症を心配しましたが、ある程度仕方ないのかなと思いました。</li> <li>● 子どもも自分の学校の友達はもちろんですが、他校の上手な生徒とも知り合えて良かった。</li> </ul> |      |     |
| 運営経費   | 参加費：1人、4,000円/月<br>指導者謝金：1,600円×4h×3人/月<br>会場使用料：740円×2区分×2回/月                                                                                                                                                                 |      |     |



出典：R6 指導者アンケート

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

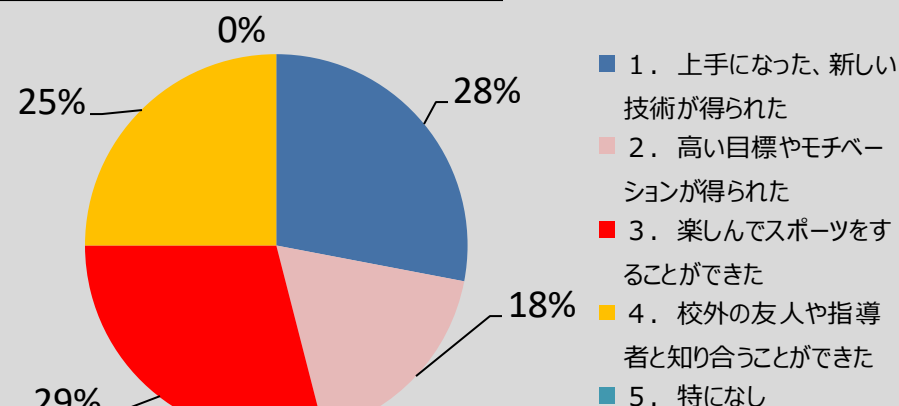
##### 取組の成果

・参加した中学生197人を対象としたアンケートの結果、回答者の28%が上手になった、新しい技術が得られたと回答し、回答者の18%が高い目標やモチベーションが得られたと回答し、回答者の29%が楽しんでスポーツをすることができたと回答し、回答者の25%が郊外の友人や指導者と知り合うことができたと回答しました。

・部活動指導に関わるが指導者が47名から64名と増加し、競技種目数が7種目から8種目に増加した。

・市内でも活動場所から遠い地域もあるため、地域で分けて自宅から通いやすくするなどの課題や、生徒のモチベーションアップを図るためにも大会参加への方法などに課題があると思います。

クラブに参加してよかった点はなんですか。



出典：R6参加者アンケート

##### 今後の課題と対応方針

まずは、生徒のニーズに沿った地域クラブを創出するため、令和6年度実施種目に加えて実施可能な種目を増やして、実証事業を展開する予定ある。

また、今年度行ったアンケートの中の意見、要望を踏まえて、試行する中で検討をしていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

・地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担の設定や、公的資金のバランスについて検証を行う必要があると考えている。

##### 地域クラブに係る経費

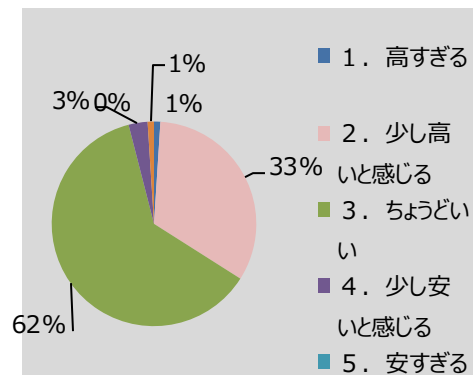
##### ■イニシャルコストの分析

- ・システム整備にかかる費用（0円）
- ・ホームページ構築費用（0円）
- ・事務用品（0円）

##### ■ランニングコストの分析

- ・会場借料（115千円）
- ・指導者謝金（2,569千円）
- ・消耗品費（128千円）
- ・郵送料（15千円）
- ・集金支援業務委託費等（288千円）
- ・保険料（210千円）

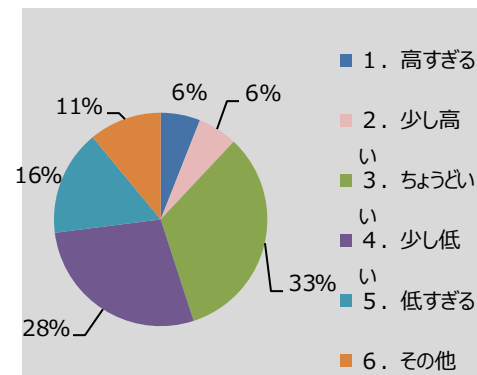
##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



出典：R6保護者アンケート

- ・受益者負担額について、保護者へのアンケート調査を行った。
- ・大半の方がちょうどいいとの結果でした。

##### 収支バランス



出典：R6指導者アンケート

- ・指導者報酬額について、指導者へのアンケート調査を行った。
- ・クラブの活動内容にもよるのかわかれるが、回答にバラツキがある結果となった。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



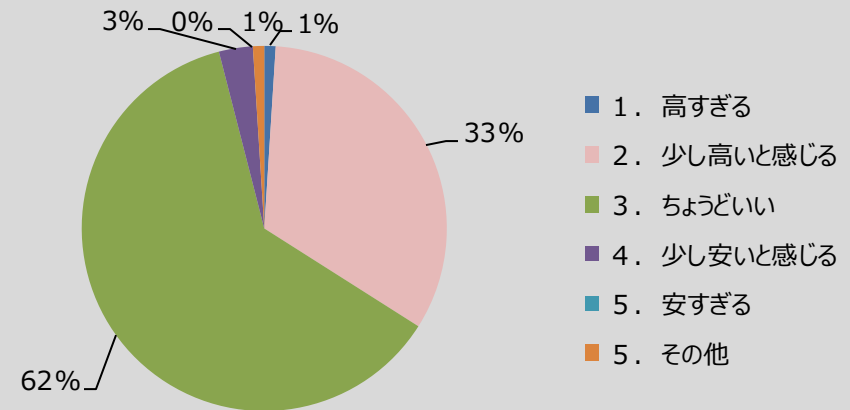
### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

- ・受益者負担額の設定においては、夏の大会以降に3年生が退部することを考慮して、会費の区分を前期・後期の支払いと設定し集金支援業務を活用して集金を行った。
- ・1回当たりの参加費を500円と試算して、毎月の活動回数を考慮して前期・後期の参加費を試算して活動を行った。
- ・活動種目には参加率が低調な種目もあり、収入が見込みよりも低い種目もあるため、運営主体において持続可能な運営は困難になると思われる。

クラブの参加費はいかがですか。



出典：R6 保護者アンケート

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブ活動の運営に係る参加生徒の費用負担については、説明会等の機会を捉えて周知を行ったことにより、保護者には概ね理解されている。今後は、受益者負担となる参加費の設定と徴収方法の確立に取り組んでいく。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

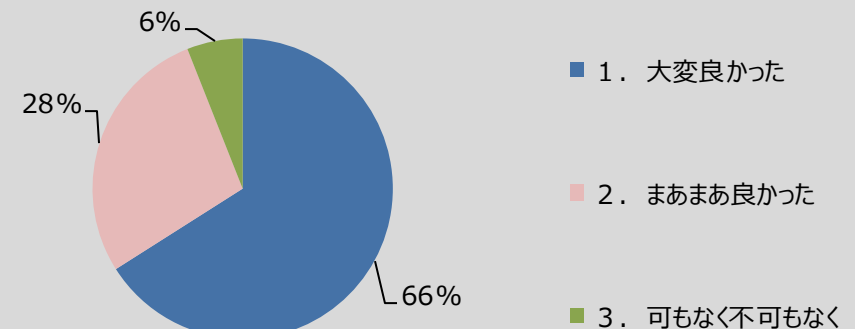
・今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行った。

校長会での要綱等の説明後に拠点校の理解・協力を得て、学校施設及び体育備品の借用を行った。

##### 取組の成果

- ・学体育施設及び体育備品の借用を行う際に、学校長の許可を得て合鍵の作製も行い、地域スポーツクラブ活動指導者にて管理を委託することができた。
- ・地域スポーツクラブ活動を実施するうえで必要なボール・シャトル等必要な体育消耗品を一部の種目ではあるが、渡すことができた。

参加したクラブの内容はいかがですか。



出典：R6 参加者アンケート

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブ活動で主な実施場所としている中学校施設については、校長会で理解を得て、コーディネーター及び事務担当者が調整を行っているため、

順調に運営ができています。天候等の気象状況による生徒の健康の維持と学校備品の借用等学校との十分な周知が重要であると考えます。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

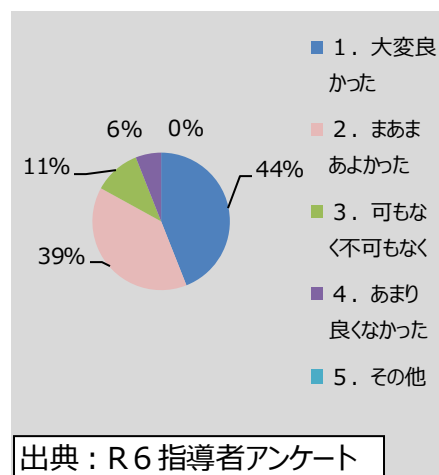
#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項（イ）

- ・指導者の質の保障を行うため、指導者研修会を行う。
- ・指導者の量の確保を行うため、愛知県人材バンクへの登録を行う。

##### 取組の成果（イ）

- ・スポーツクラブ活動指導者、補助指導者への指導者研修会を実施して、指導者の資質の向上を図ることができた。
- ・スポーツクラブ活動の指導者数が十分ではないため、愛知県人材バンクに登録を行ったが、採用までには至らなかった。

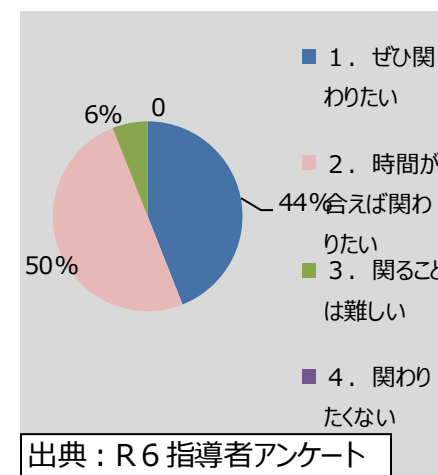


##### 取組事項（ウ）

- ・江南市スポーツ協会・スポーツ少年団との連携強化を図るため、打合せの会議を行う。

##### 取組の成果（ウ）

- ・スポーツクラブ活動を運営する団体とスポーツ協会・スポーツ少年団との打ち合わせ会議を行い連携強化を図ることはできたが、指導者の確保までには至らなかった。



##### 今後の課題と対応方針

- ・指導者の質の保障を行うため、指導者研修会の回数を増やして指導者の参加しやすい機会を創出する。
- ・スポーツ協会・スポーツ少年団との連携強化は必要であり、今後さらに協議を行いより良い運営を図ることが必要と考えている。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度実施した地域クラブ活動（KONANクラブ）については、参加生徒の93.8%及び保護者の93.4%が、概ね満足のものであった。クラブ活動への参加費（受益者負担額）についても、概ね理解を得ている。今後も引き続き参加したいと考える生徒が75.3%を占めている。

指導者の意見として、子どもたちとのふれあいが楽しかった、生徒が成長していることを実感できた、活動機会が少しでも保障できるといった感想が寄せられた。江南市の地域クラブ活動は、市の方針に沿って令和8年2学期から休日の運動部活動を地域展開としていく。

#### ●成果の評価

令和4年度から取り組んだ実証事業については、学校や生徒、保護者への理解を得ながら生徒の活動の多様性を考慮して、進めていくことができた。参加した生徒や保護者からも地域クラブ活動を理解し、認知されつつあることについては、成功している。また、地域クラブ活動への参加者数についても、年度毎に増加している状況であり、少しずつ認識されている。

#### ●今後に向けて

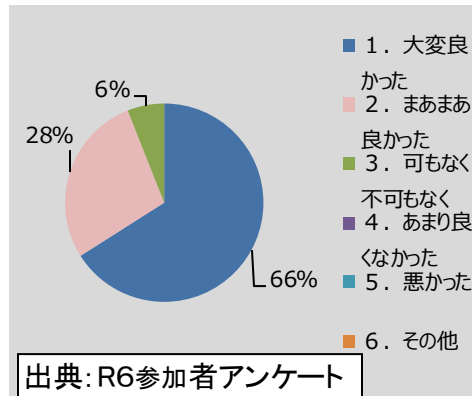
令和7年度は江南市が事業主体となり、これまで実証事業に取り組んだ中から、参加生徒や保護者から意見としていただいた課題で、子どもの交友関係の広がりやスポーツ技術力向上、活動場所への送迎について、活動日数を増やして欲しい、参加する生徒が参加しやすいよう日程調整して欲しい、参加費や活動費の徴収を柔軟にして欲しい、気候や怪我等への対応を万全にして欲しい、などの多くの要望について、検討をしながら実証事業を進めていく。

## 2.実証内容と成果②

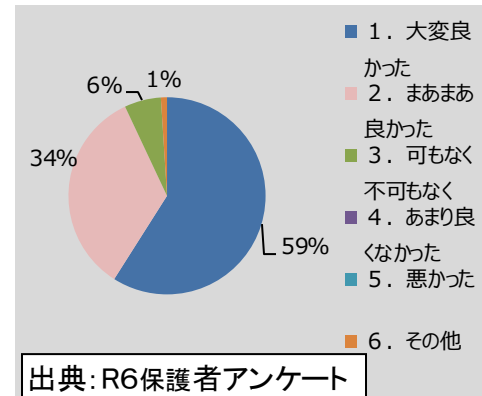
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

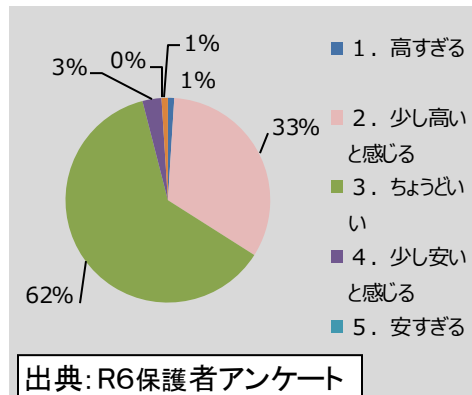
Q. 3 参加したクラブの内容はいかがでしたか



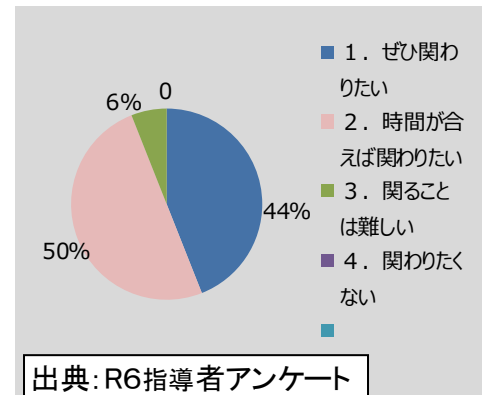
Q. 3 参加したクラブの内容はいかがでしたか



Q. 6 参加費用はいかがでしたか



Q. 来年以降も指導者として関わりたいと思いますか



#### ●参加者の声

##### 中学1・2年生（など）

- ・7月も休まず活動してほしかった。
- ・月2回だと少ないと思うから土日以外の夜の練習を入れたりしてほしい。
- ・今までスポーツをしてなかった人には少し難しかった。

##### 中学3年生（など）

- ・形の練習時間をもう少し増やしてほしい。
- ・女子と男子で分かれることに対して、男子の強いボールなどをコーチ以外で経験しにくくなるのが残念だった。

##### 保護者（など）

- ・テストなどで休む日が絶対出るので参加費をもう少し安く
- ・交友関係が広がり、高めあえる仲間がいることで努力したり継続する力がついているように感じます。
- 部活の回数が減っていて練習の機会があり助かりました。

##### 指導者（など）

- ・けがをした際の対応を明確にしていきたい。
- ・役割分担の精査。
- ・子どもたちとのふれあいが楽しかった。
- ・子どもたちが取り組んでいる姿を見ていて楽しい。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

・今回のアンケート結果から、実施したスポーツクラブ活動については、参加生徒の93.8%及び保護者の93.4%が、概ね満足いくものであった。また、クラブ活動への参加費について61.5%がちょうどいいとの回答、負担・

負荷についても65.9%があまり感じなかったと回答されたことから、受益者負担の考えは保護者に理解されていると推察できる。指導者の意見としても様々な提案があり、今後の運営反映させていきたい。

#### スポーツクラブ江南 部活動支援事業

2024.4月

スポーツクラブ江南地域部活動支援事業部では、5月より8競技種目での教室を開催します。  
市内の中学生が集まり「スポーツの楽しさ」を共感することを主旨とし、スポーツが好きで、「もっと練習したい、もっと上手になりたい…」そんな中学生のための教室です。  
仲間がいるから頑張れる「充実感」を味わってみませんか。

##### <開催教室種目>

ランニング、バスケットボール（女子）、ソフトテニス  
バレーボール、ソフトボール、バドミントン、剣道、軟式野球。  
※詳細は下記二次元コードを読み取りご確認ください。



スポーツクラブ江南  
江南市高屋町清水118番地  
Tel:0587-55-5261  
Mail:sportsclubkonan@gmail.com

#### 【生徒への参加啓発チラシ】

出典:R6スポーツクラブ活動チラシ

令和6年度前期 KONANクラブアンケートの結果概要について(報告)

#### 1 調査概要

##### (1) アンケートの目的

令和6年5月から8月まで実施された運動部活動の地域移行実証事業における地域クラブ活動(KONANクラブ)に参加する生徒及びその保護者、クラブ活動指導者を対象として、前期の活動に対する意見を聞き取り、後期に向けての検討資料とする。

##### (2) 実施方法

連絡に活用するメールを利用して回答。

##### (3) 回答者数

|            |          |         |
|------------|----------|---------|
| 【参加生徒】     | 81人/197人 | (41.1%) |
| 【参加生徒の保護者】 | 91人/197人 | (46.2%) |
| 【クラブの指導者】  | 18人/64人  | (28.1%) |

#### 2 結果について

今回のアンケート結果から、前期実施したKONANクラブについては、参加生徒の93.8%及び保護者の93.4%が、概ね満足いくものであったことがわかる。

保護者にお尋ねしたクラブ活動への参加費について、61.5%が「ちょうどいい」との回答、負担・負荷についても65.9%が「あまり感じなかった」と回答されたことから、受益者負担の考えは、参加者の保護者には理解されていると推察できる。

後期に向けて、引き続き参加すると考える生徒が75.3%を占めるものの、子どもの交友関係の広がりやスポーツ技術力向上、活動場所への送迎について、保護者から不満の意見も見られた。また、活動日数を増やして欲しい、参加する生徒が参加しやすいよう日程調整して欲しい、参加費や活動費の徴収を柔軟にして欲しい、気候や怪我等への対応を万全にして欲しい、などの多くの要望があった。

指導者の意見として、子どもたちとのふれあいが楽しかった、生徒が成長していることを実感できた、活動機会が少しでも保障できるといった感想、また、活動日数が少ない、暑さ対策が必要、生徒の移動を考慮した会場選定が必要といった、参加した子どもが満足できるよう、様々な提案もなされた。

いただいた意見を十分に精査し、今後の運営に反映するとともに、市の施策に活かしていく必要がある。

#### 【アンケート結果】

出典:R6アンケート結果



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【バレーボール活動写真】



【ランニング活動写真】



【バレーボール活動写真】

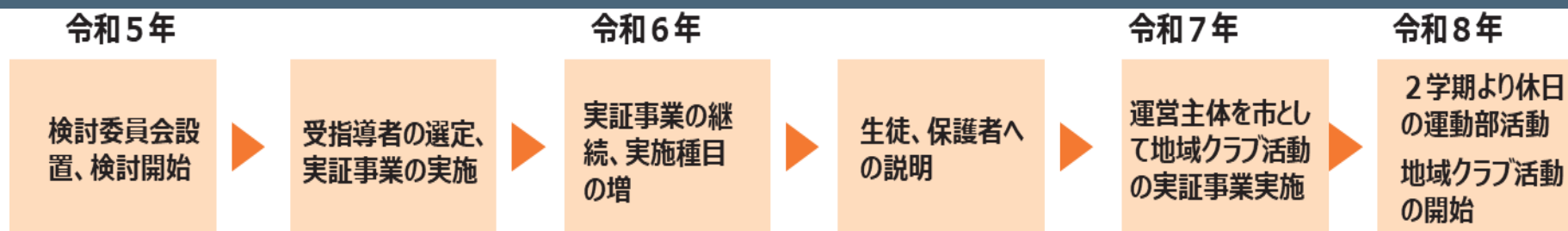


【バドミントン活動写真】



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

学校、スポーツクラブ江南、競技団体、市教委、スポーツ推進課、統括コーディネーター、コーディネーター

#### ●経過

令和5年度より検討委員会を設置し、総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ江南」を事業主体として、実証事業を実施した。令和6年度も引き続き実証事業により、諸課題の抽出を行い、令和8年2学期から休日の運動部活動を地域クラブ活動で行うことを目標とした。

#### ●実施内容

実証事業は、令和5年度7種目、令和6年度は8種目で実施した。

市立中学校5校の合同で、市立中

学校及び公共のスポーツ施設を活動場所とした。学校部活動の種目がないクラブも1種目設けて実施した。地域クラブ活動への展開について、児童、生徒及び保護者に対して文書、説明会での周知に努めた。

#### ●実施にあたって生じた課題

各種目とも指導者の確保が課題となるため、各スポーツ団体への依頼、愛知県の人材バンクの活用、教員の兼職兼業等を含めて、地域クラブ活動の展開に充足できるよう確保していく予定である。

また保護者への受益者負担についての理解、活動場所への送迎等の理解を引き続き求めている。

#### ●今後の展開

持続可能な地域社会活動としていくため、市内のスポーツ団体、民間企業、民間のスポーツクラブ等と連携・協働

していく体制を構築していく。

令和8年2学期から休日の運動部活動を地域クラブ活動とする目標の達成のため、令和7年度は市が事業主体となり、実証事業を実施していく。

将来的に地域クラブ活動は地域のスポーツ団体を事業主体とすることを目標とするため、地域との連携を強めていく。

# 3.今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

| 年    | 月   | 事務局              | 江南市（地域のスポーツ団体）                                                | 児童生徒・保護者                            |
|------|-----|------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 令和7年 | 1月  |                  |                                                               | 保護者（小6） 入学説明会にて地域移行周知               |
|      | 2月  | R6 第3回検討委員会      | R6 下期実証事業 終了（SC江南）                                            | 小6 地域移行説明資料 メール送信                   |
|      | 3月  | 地域との協力体制・連携の推進   |                                                               |                                     |
|      | 4月  |                  | R7 上期実証事業 募集                                                  | 新中1（現小6） 新小6（現小5） 地域クラブ活動募集案内メール 送信 |
|      | 5月  |                  | R7 上期実証事業 開始                                                  | 中1、小6及び保護者 地域クラブ活動参加希望種目アンケート実施     |
|      | 6月  |                  | 地域クラブ活動実施種目選定（指導者確保）<br>実施種目 要項の作成（児童・保護者へ案内）                 |                                     |
|      | 7月  | R7 第1回推進委員会      | 地域クラブ活動各種目の予備登録準備                                             | 地域クラブ活動各種目の予備登録実施（中1、小6）            |
|      | 8月  | 予備登録人数を踏まえた予算積算  | R7 上期実証事業 終了                                                  |                                     |
|      | 9月  |                  | R7 下期実証事業 募集<br>地域クラブ活動各種目 体験会の準備                             |                                     |
|      | 10月 | R7 第2回推進委員会      | R7 下期実証事業 開始                                                  | 地域クラブ活動各種目 体験会実施                    |
| 令和8年 | 11月 |                  |                                                               |                                     |
|      | 12月 |                  |                                                               |                                     |
|      | 1月  | R7 第3回推進委員会      |                                                               | 保護者（小6） 入学説明会にて地域移行周知               |
|      | 2月  | 地域クラブ活動委託契約仕様の検討 | R7 下期実証事業 終了                                                  |                                     |
|      | 3月  | R7 第4回推進委員会      |                                                               |                                     |
|      | 4月  | 地域クラブ活動委託契約      | 新中1・新中2地域クラブ活動 申込                                             | 新小6（現小4）保護者 地域クラブ活動参加希望種目アンケート実施    |
|      | 5月  |                  |                                                               |                                     |
|      | 6月  | R8 第1回 推進委員会     | 地域クラブ活動実施種目選定（指導者の確保）<br>指導者打合せ会・研修会<br>実施種目 要項の作成（児童・保護者へ案内） |                                     |
|      | 7月  |                  | 各種目の予備登録準備（中1・2、小6）<br>学校部活動顧問との打合せ会                          | 各種目の予備登録実施（中1・2、小6）                 |
|      | 8月  | 予備登録人数を踏まえた予算積算  |                                                               |                                     |
| 令和9年 | 9月  | 休日の運動部活動地域展開開始   | 地域クラブ活動 開始                                                    | 地域クラブ活動 各種目の体験会実施                   |
|      | 10月 | R8 第2回 推進委員会     |                                                               |                                     |
|      | 11月 |                  |                                                               |                                     |
|      | 12月 |                  | 指導者打合せ会・研修会                                                   |                                     |
|      | 1月  | R8 第3回 推進委員会     |                                                               | 保護者（小6） 入学説明会にて地域展開周知               |
|      | 2月  |                  |                                                               |                                     |
|      | 3月  |                  |                                                               |                                     |

\*予備登録（予算上の地域クラブ活動参加人数の積算）までの流れ

5月 令和7年度（新小6・新中1）、令和8年度～（新小6・新中1・新中2） 地域クラブ活動参加希望アンケート調査

↓  
6月 地域クラブ活動 実施種目選定・実施種目要項の作成と案内の送付

↓  
7月 地域クラブ活動 予備登録の実施による参加希望概算人数の把握

↓  
8月 次年度予算積算

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県 大府市

自治体名：愛知県大府市

担当課名：学校教育課

電話番号：0562-46-3332

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 面積                     | 総面積33.66 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 92,939 人                 |
| 公立中学校数                 | 4 校                      |
| 公立中学校生徒数               | 2,784 人                  |
| 部活動数                   | 45 部活                    |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                      |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                      |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市では部活動の地域移行に向けて令和5年3月に「大府市部活動地域移行ビジョン」を策定し、公表した。

令和6年度は「大府市部活動地域移行ビジョン」で示す方針に基づき検討を重ね、令和7年8月以降は土日の学校部活動を実施しない方針を決定し、その代わりの場として新たに「おおぶ地域クラブ」を設置することとしている。

「おおぶ地域クラブ」の開始に向けて市内の大学、団体、学校保護者等の代表で組織する「大府市部活動地域移行実行委員会」や、各

中学校の代表からなる「部活動地域移行推進連絡会議」において、多様な意見を聴取し、令和7年8月に向けて検討を重ねてきた。

「おおぶ地域クラブ」は市内の特定非営利活動法人が中心となり運営管理を行っていくことを決定しているが、指導者の確保や運営管理の方法、参加料の徴収等、多くの課題を今後解決していかなければならない。



【大府市中学校部活動地域移行ビジョン】

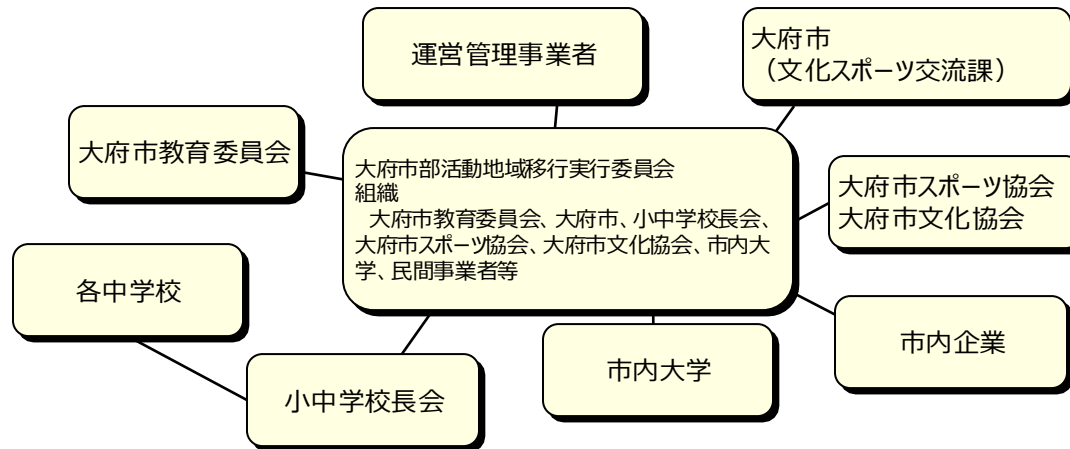


【おおぶ地域クラブ説明動画】

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（学校教育課）

- ・市立中学校との連絡・調整
- ・大学、事業所、各種団体との連携に向けた調整
- ・大府市部活動地域移行実行委員会の実施

##### ◎首長部局（文化スポーツ交流課）

- ・市スポーツ協会、文化協会への働きかけ
- ・大府市部活動地域移行実行委員会への出席

### 年間の事業スケジュール

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 令和6年4月             | 第1回部活動地域移行実行委員会      |
| 令和6年6月             | 第1回指導者研修会            |
| 令和6年8月             | 第2回大府市部活動地域移行実行委員会   |
| 令和6年10月            | 県教育委員会主催情報交換会        |
| 令和6年11月<br>～令和7年2月 | プレ地域クラブ活動            |
| 令和6年12月            | 教員・地域指導者意向調査         |
| 令和7年1月             | 第3回大府市部活動地域移行実行委員会   |
| 令和7年1月             | 中学校入学説明会（動画説明）       |
| 令和7年3月             | 地域クラブ指導者説明会          |
| 令和6年4月<br>～令和7年2月  | 大府市部活動地域移行推進連絡会議（毎月） |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |             |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-------------|
| 中学校数     | 3 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 6 クラブ       |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 6 クラブ（0 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | クラブ         |
| 全体の指導者数  | 12 人                                         | 全体の運営スタッフ数  | 4 人         |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名      | 運営団体<br>種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数    | 実施時間帯  | 参加者<br>（学年別）   | 実施期間        | 活動場所    | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費     | 大会参加方法     |
|-----------|------------|-------------------------|---------|--------|----------------|-------------|---------|------|----------------------|--------|------------|
| 大府北中サッカー  | 民間事業者      | サッカー                    | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年13人<br>2年12人 | 令和6年11月～12月 | 学校グラウンド | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 部活動として出場   |
| 大府南中卓球    | 民間事業者      | 卓球                      | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年15人<br>2年13人 | 令和7年1月～2月   | 学校体育館   | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 期間中の大会参加無し |
| 大府南中男子バスケ | 民間事業者      | バスケ                     | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年15人<br>2年13人 | 令和7年1月～2月   | 学校体育館   | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 期間中の大会参加無し |
| 大府中卓球     | 民間事業者      | 卓球                      | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年21人<br>2年18人 | 令和7年1月～2月   | 学校体育館   | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 期間中の大会参加無し |
| 大府中男子バスケ  | 民間事業者      | バスケ                     | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年17人<br>2年10人 | 令和7年1月～2月   | 学校体育館   | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 期間中の大会参加無し |
| 大府中女子バスケ  | 民間事業者      | バスケ                     | 週 1 回程度 | 8時～11時 | 1年10人<br>2年6人  | 令和7年1月～2月   | 学校体育館   | 2 人  | 4 人<br>（内、兼務×4人）     | 会費 0 円 | 期間中の大会参加無し |



## 2.実証内容と成果

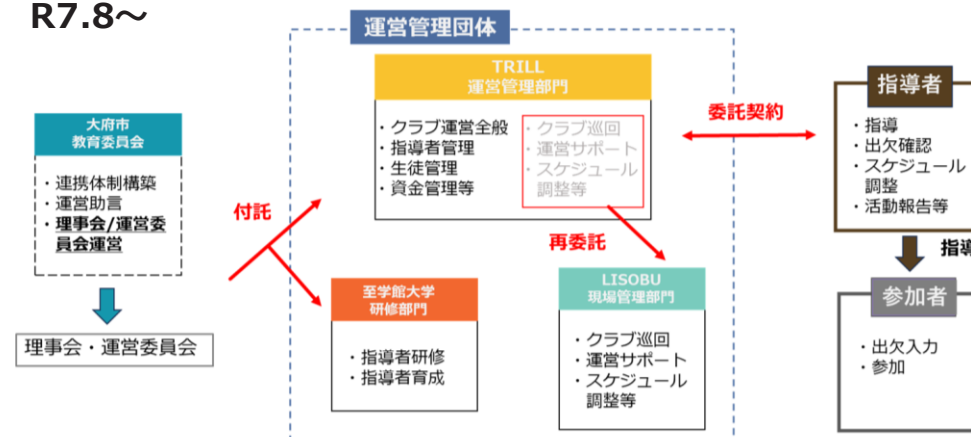
### 主な取組例

#### ●クラブ 活動概要

|                 |                                                                                    |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | サッカー、バスケ、卓球                                                                        |
| 運営団体名           | 特定非営利活動法人TRILL                                                                     |
| 期間と日数           | サッカー：11月30日～12月21日<br>月3回程度<br>卓球：1月19日～2月16日<br>月3回程度<br>バスケ：1月19日～2月16日<br>月3回程度 |
| 指導者の主な属性        | 部活動指導員、外部指導員、教員                                                                    |
| 活動場所            | 各中学校体育館、グラウンド                                                                      |
| 主な移動手段          | 徒歩、自転車                                                                             |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 0円<br>※令和7年8月より月2,000円                                                             |
| 1人あたりの保険料       | 0円<br>※令和7年8月より年800円                                                               |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

R7.8～



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●運営管理部門 4名

役割：クラブ運営全般、生徒管理、クラブ活動広報等を行う

##### ●現場管理部門 2名

役割：クラブ巡回、スケジュール管理、指導者フォロー等を行う

##### ●指導者 各クラブ2名以上（メイン指導者、サブ指導者、サポーター）

役割：各クラブでの指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

・地域移行後のクラブ運営に関する課題抽出のため、モデル事業として実施するクラブ活動の運営管理を委託し、地域クラブ活動の運営管理方法について検討した。

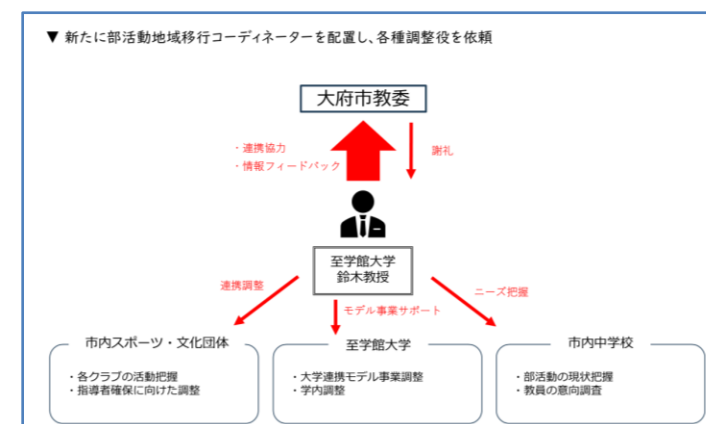
・コーディネーターの配置により、市と関係団体との連絡調整を行った。

##### 取組の成果

・モデル事業として実施した3中学校6クラブの運営を通して、4中学校全50クラブでの運営管理に向けた実証を行った。

・平日の学校部活動との連携や生徒、保護者への連絡等で使用するアプリについて試行し、課題抽出することができた。

・コーディネーターが地域の団体等と連携することでオールおおぶでの実施体制に向けた準備が進められている。



【コーディネーター説明資料】

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ◆ 運営管理事業者打合せ
- ◆ 部活動地域移行推進連絡会議での助言
- ◆ 至学館大学連携指導者研修会
- ◆ 兼職兼業説明動画作成
- ◆ 県教育委員会主催研修会での発表

#### 今後の課題と対応方針

令和6年度中に令和7年度から開始する「おおぶ地域クラブ」の運営事業者を決定した。この事業者と地域クラブ開始に向けた準備として、クラブへの入会登録、アプリを活用したスケジュールや出欠管理、参加料の徴収等の準備を進めている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

・愛知県教育委員会が設置した「あいち地域クラブ人材バンク」を活用して指導者の募集を進めている。

・市内にある至学館大学と連携し、地域クラブ指導員に必須で受講いただく研修プログラムを構築し、指導者の質の確保を目指していく。

##### 人材バンクの人数

97名

##### 人材バンクの年齢構成

|       |     |
|-------|-----|
| 10代   | 11名 |
| 20代   | 45名 |
| 30代   | 13名 |
| 40代   | 8名  |
| 50代   | 10名 |
| 60代以上 | 8名  |
| 不明    | 2名  |

##### 種目

|          |           |
|----------|-----------|
| 野球 15名   | バスケ 10名   |
| サッカー 13名 | バドミントン 6名 |
| 吹奏楽 24名  | バレー 10名   |
| テニス 15名  |           |
| 卓球 5名    |           |

##### 登録者属性

|     |     |
|-----|-----|
| 職業等 |     |
| 大学生 | 20名 |
| その他 | 77名 |

##### 取組の成果

「あいち地域クラブ人材バンク」を活用して指導者を募集したことで、大府市外の指導者の方にも多く関心をもってもらえ、想定以上の募集を受けることができた。

応募があった指導者に対しては大府市教育委員会で一次面談し、適切と判断した場合、学校の部活動顧問との二次面談に進んでいただき、二次面談でも適切と判断した場合に指導者として登録するという流れで指導者の登録を進めている。



【愛知県版チラシ】



【大府市版チラシ】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

#### 指導者研修の概要

至学館大学と連携し、指導者としての心構えやハラスメントの防止、応急処置等の指導者として必要なスキルを学んでいただく研修会を実施

#### ■ 実施日時／

①令和6年6月15日（土）

②令和6年6月22日（土）

③令和6年6月29日（土）

#### ■ 実施場所／大府市役所 会議室

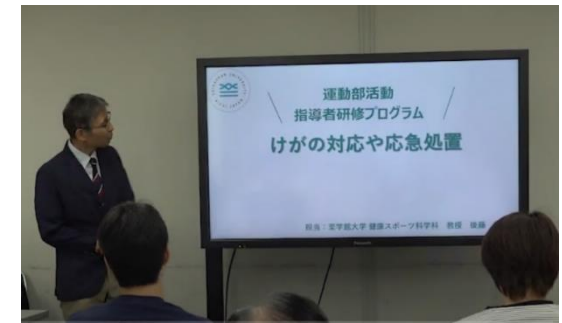
#### ■ 受講者／46名

#### ■ 研修テーマ

#### ▼指導開始までのフロー

| 順序 | 時期     | 内容                     |
|----|--------|------------------------|
| ①  | 令和7年3月 | 指導員説明会（運営事業者）          |
| ②  | 4月     | 指導者業務委託契約（⇔運営事業者）      |
| ③  | 5月     | 至学館大学実施研修受講（対面orオンライン） |
| ④  | ～5月末   | 研修受講レポート提出（→至学館大学）     |
| ⑤  | 6月     | 研修受講修了証受領（←至学館大学）      |
| ⑥  | 8月     | 地域クラブ活動指導開始            |

#### 【指導開始までのフロー】



#### 【指導員研修会の様子】

| 至学館大学部活動地域移行指導員研修プログラム |                     |                        |
|------------------------|---------------------|------------------------|
| 日 程                    |                     |                        |
| 6月15日（土）               |                     |                        |
| 9:00                   | やる気を引き出す言葉かけ        | 鈴木 孝<br>(日本ベクトルスポーツ協会) |
| 10:00                  | 思春期の子ども心理と指導上の留意点   | 池田夢恵<br>(豊田工業大学)       |
| 11:00                  | ハラスメントの知識           | 笹竹英穂<br>(至学館大学)        |
| 13:00                  | 安全管理（事故防止について）      | 福富 優<br>(至学館大学)        |
| 6月22日（土）               |                     |                        |
| 9:00                   | 子どもの発育・発達にあわせた指導法   | 浅野幹也<br>(至学館大学)        |
| 10:00                  | みんなで月経について考えてみませんか？ | 今井美希<br>(至学館大学)        |
| 11:00                  | けがの対応や応急処置          | 後藤英之<br>(至学館大学)        |
| 6月29日（土）               |                     |                        |
| 9:00                   | トレーニングの原理・原則        | 富澤太樹<br>(至学館大学)        |
| 10:00                  | 服務（部活動指導員）・会計管理     | 久林直美・鈴木達見<br>(至学館大学)   |
| 11:00                  | 保護者への対応・引率          | 久林直美・鈴木達見<br>(至学館大学)   |

#### 今後の課題と対応方針

地域クラブの指導者の質の確保は重要な課題であるため、次年度以降は、地域クラブで指導する場合は、必ず至学館大学実施する指導者研修を必ず受講することとしていく。（年2回）

研修は対面式とオンラインの両方で受講可能とし、受講後は至学館大学へレポートを提出して修了証を受け取ることにしている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

地域クラブ活動と平日の部活動の連携を円滑に行うため、専用のアプリを導入し、スケジュール管理や指導者間の連絡調整に関する取り組みを試行した。

##### 取組の成果

・今年度実施した地域クラブ活動ではスケジュールの管理や出欠管理、活動報告を全て専用アプリ内で完結させた。

・アプリの導入によって保護者も生徒の予定を確認できるようになり安心感を得ることができた。

アプリによる活動管理

▼ 活動管理アプリを活用し、土日の地域クラブ活動のスケジュール等を管理します



アプリ名：部活マネージャー

(主な機能)

- スケジュール管理：カレンダー形式でのスケジュールの共有
- 連絡管理：指導者、参加生徒、保護者での連絡事項の共有
- 参加料徴収：アプリを活用した参加料の徴収

#### 【アプリ説明資料】

#### 今後の課題と対応方針

平日の学校部活動と土日の地域クラブのスムーズな連携は地域展開を進めていく上での大きな課題になると認識している。

そのため、以下の方法でスムーズな連携ができるように体制を整えていく。

##### ① アプリを用いた情報共有

アプリ内で学校部活動の顧問と地域の指導者が情報共有や必要な連絡をできるような体制を整えていく。

##### ② 運営事業者による定期巡回

運営事業者が地域クラブの活動を定期的に巡回し、指導者からの情報を集約し学校へ伝えることで両者が情報共有できる体制を構築していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

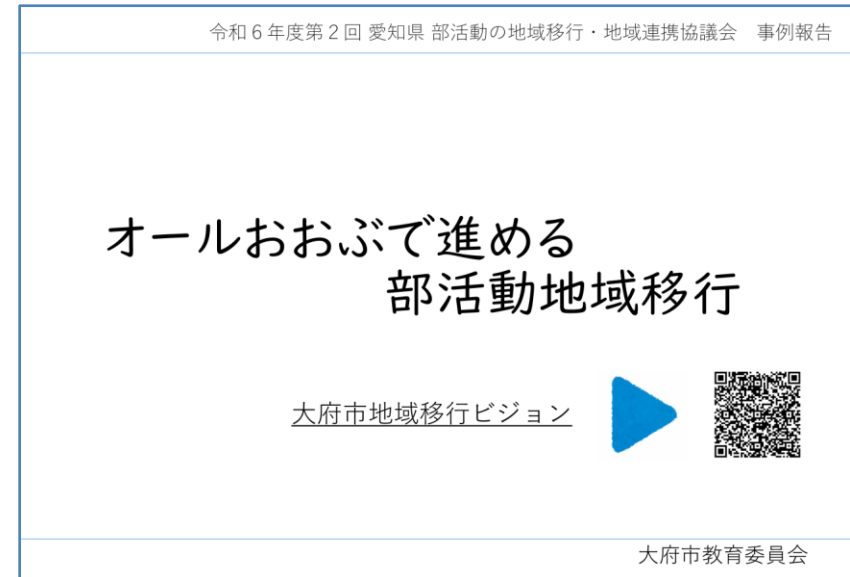


### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- ・他市町の取組の情報収集のため、県内の他市町と密に連携。
- ・地域クラブの指導者確保に向けて、市内の事業者、団体等との密な情報交換を実施。
- ・県内他市町に向けて大府市の取組を情報発信



#### 【愛知県教育委員会主催研修での報告資料】

##### 取組の成果

- ・「令和6年度第2回 愛知県 部活動の地域移行・地域連携協議会」での事例報告
- ・愛知県内他市町との情報交換（長久手町、江南市、東浦町ほか）
- ・指導者確保に向けた指導者募集の協力依頼（愛三工業、住友重機械工業）
- ・スポーツ・文化団体との連携（大府市文化協会、大府市スポーツ協会、FC刈谷）

##### 今後の課題と対応方針

全てのクラブへの指導者の配置が完了していないため、今後も市内の事業者、団体等へのアプローチを継続し、オールおおぶで進める部活動地域移行を推進していく。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

部活動地域移行をきっかけに、これまで学校部活動として実施していなかった活動についても「新たな地域クラブ」や「連携地域クラブ」として位置付けることで、生徒の多様なニーズに合わせて活動に参加できる体制を整えていく。例えば、「ダンス」や「将棋」、「ラグビー」等の学校部活動に無い活動でも、生徒のニーズがあり、場所や運営体制が確保できている活動について、地域で活動している運営団体と連携し、地域クラブ活動に位置付けていく。

##### 取組の成果

大府市の学校部活動ではこれまでバレーボールは女子生徒のみの活動となっていたが、男子生徒のバレーボールのニーズも高かったため、地域の団体と調整し、新たな地域クラブとして男子のバレーを実施することとした。

##### 今後の課題と対応方針

今後も、市内で活動するスポーツ・文化団体と連携し、子ども達のニーズにあった活動をおおぶ地域クラブや連携地域クラブとして実施できるようにしていく。

#### 連携地域クラブ

令和6年3月現在

学校の部活動や令和7年8月からスタートするおおぶ地域クラブの活動以外にも市内では多くの活動が行われています。  
大府市教育委員会では、これらの活動のうち市内の中学生が活動に参加できる団体を「連携地域クラブ」として位置づけ、「活動の周知」「活動場所」「大会参加」等の協力をしています。

| 活動の種類       | 運営主体         | 主な活動日                              | 活動場所                          | 問い合わせ先<br>(代表者)                      | 団体ウェブサイト等 |
|-------------|--------------|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-----------|
| バレー<br>(男子) | VCOBU        | 毎週木曜日<br>18:30~<br>毎週土曜日<br>13:30~ | 大府市内<br>体育館                   | vcobu2021@gmail.com<br>(重岡)          |           |
| 将棋          | おおぶ将棋<br>クラブ | 毎週土曜日<br>又は日曜日<br>13:00~           | 東山公民館 ほか                      | aikawa_yas@hotmail.com<br>(相川)       |           |
| 柔道          | 大府柔道会        | 毎週<br>月・火・木・金<br>19:00~            | 大府北中学校<br>武道場<br>大府中学校<br>武道場 | keibo-<br>harada@ezweb.ne.jp<br>(原田) |           |

活動の詳細の確認や参加申し込みについては、直接各問い合わせ先へご連絡ください。

#### 【その他】新たな地域クラブ活動（男子バレーボール）

▼ 令和6年度以降の新たな地域クラブとして大府市内の中学校には無い、男子バレーボールをおおぶ地域クラブの一つに位置付け活動する。

- ◆ 運営体制：おおぶ地域クラブの一つとして同様に運営管理
- ◆ 指導者：大府JVC指導者2名
- ◆ 実施場所：大府南中学校 サブアリーナ
- ◆ 実施時期：令和7年8月より開始
- ◆ 実施日時：主に土曜日午後1時～4時
- ◆ 道具等：主に大府南中の備品を活用
- ◆ 対象：大府市内中学校に通う男子生徒 ※所属校は問わない
- ◆ 参加料：2000円/月 及び 保険料800円/年 ※他のおおぶ地域クラブと同様
- ◆ 大会参加：地域クラブとして参加 ※中小学校体育連盟主催の大会は今後調整
- ◆ その他：現小学6年生児童の10名程度が参加見込み



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

「大府市部活動地域移行実行委員会」や「義務教育推進協議会」の場において地域クラブの参加料について議論し、令和7年8月からの参加料徴収について方針を決定した。

#### 今後の課題と対応方針

- ・地域クラブの受益者負担について、令和7年8月から生徒一人あたり月2,000円を参加料として徴収することで決定した。
- ・徴収方法については、運営管理で使用する専用アプリを用いた口座振替を行う。
- ・困窮家庭への対応として、就学援助相当世帯については申し出があれば参加料を免除とし、市から運営事業者へ負担金として支払うことを予定している。

#### 資料

#### ▼地域クラブ運営にかかる収支イメージ

|       |                      |     |                                                                               |      |
|-------|----------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------|------|
| 保護者負担 | 1人月2,000円            | 参加料 | 指導者1人1時間<br>メイン指導者 1,800円<br>サブ指導者 1,600円<br>サポーター 1,000円                     | 総事業費 |
|       | ※就学援助世帯の参加料は市の負担金で補填 |     | ※参加者が想定を大きく下回る場合、総事業費の1/2または市の負担金で補填                                          |      |
| 市費    | 1人年間800円             | 保険料 | ・スポーツ安全保険等                                                                    |      |
|       | 市の予算による負担金           | 市予算 | ・生徒参加管理<br>・スケジュール管理（アプリ活用）<br>・巡回指導<br>・指導者手配<br>・システム管理<br>・トラブル対応<br>・学校連携 |      |
|       |                      | 寄付等 | その他                                                                           |      |
|       | 項目例                  | 収入  | 支出                                                                            | 項目例  |

#### ◎保護者負担 ⇒ 保護者からの参加料の範囲内で調整

| 項目    | 金額（千円） | 積算（千円） | 項目       |
|-------|--------|--------|----------|
| 指導者謝礼 | 18,432 | 18,432 | 指導者謝金    |
| 保険料   | 1,120  | 1,120  | スポーツ安全保険 |
| 合計    | 19,552 |        |          |

#### ◎市予算 ⇒ 固定費

| 項目     | 金額（千円） | 積算（千円） | 項目             |
|--------|--------|--------|----------------|
| 運営管理経費 | 16,320 | 7,000  | 人件費（総務）        |
|        |        | 2,500  | 人件費（現場管理）      |
|        |        | 300    | 指導者保険          |
|        |        | 720    | 外部顧問（弁護士、税理士）  |
|        |        | 2,400  | 諸経費（口座振替手数料含む） |
|        |        | 3,400  | 一般管理費          |
| 研修委託料  | 1,500  | 1,500  | 至学館大学研修        |
| アプリ使用料 | 2,079  | 2,079  | 管理アプリ使用料       |
| 合計     | 19,899 |        |                |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

原則、学校施設を活用するため、学校の鍵の管理や学校備品の借用、消耗品の使い分け等のルールを策定する。

学校関係者以外が学校施設を利用する機会が増えるため、学校の鍵の管理や学校備品の借用、消耗品の使い分け等のルール作りは必須となる。

##### 取組の成果

・令和7年8月より開始するにあたり、各中学校のグラウンドや体育館、音楽室等を使用して活動することとしている。

・平日の部活動で使用する消耗品や備品を土日のクラブ活動でも共有して使用する方針のため、指導者間の意思疎通や共通認識が必要のためにアプリでの情報共有を試行した。



【音楽室導線確認】



【音楽室導線確認】

##### 今後の課題と対応方針

今後、学校閉校日に学校施設を使用するにあたっての使用ルールや共有の方法をルール化していく。

また、学校内を使用する吹奏楽においては音楽室の警備システムの見直しや生徒の移動導線についても検討が必要になってくる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度に行った各種検討会議や運営事業者との協議、委託事業の実施により、令和7年8月からの「おおぶ地域クラブ」の活動開始に向けた様々な課題の抽出や解決に向けた検討が進められた。

#### ●成果の評価

○部活動地域移行コーディネーターの配置

・大学教授による各種連絡調整や運営管理体制への助言 ⇒ 学校、事業者、団体、大学などオールおおぶで支える地域クラブの実現

○大学連携研修

・指導員研修を実施 ⇒ 次年度以降の指導者研修のスキームを構築

○指導者確保

・愛知県地域クラブ人材バンクシステムの活用 ⇒ 多くの指導者を確保

○運営管理体制の構築

・市内のNPO法人を中心とするクラブ運営を決定 ⇒ アプリの活用や平日の活動とのスムーズな連携を模索

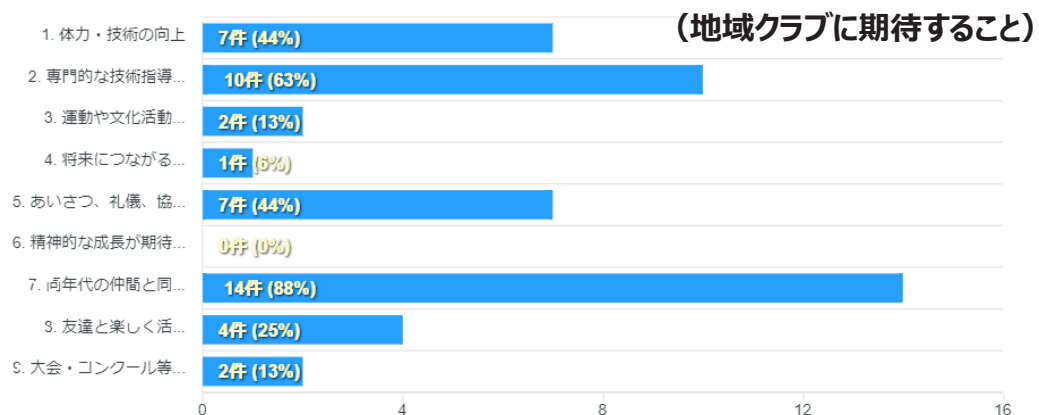
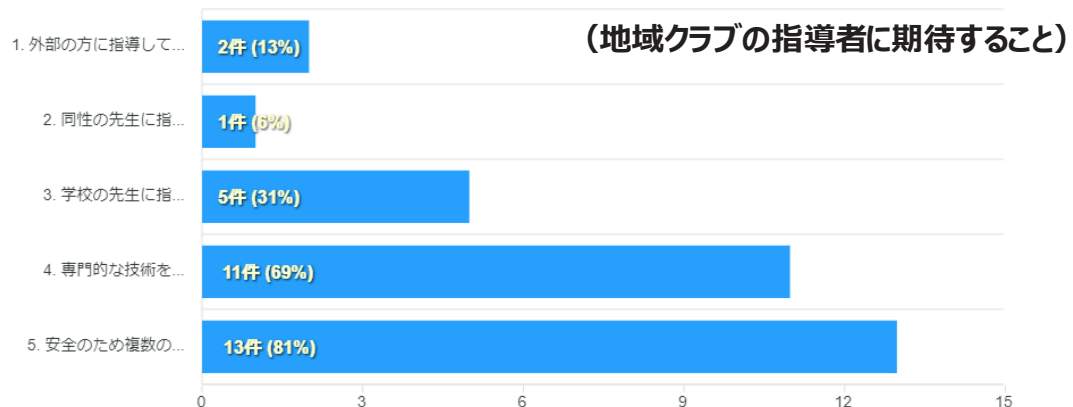
#### ●今後に向けて

令和7年8月より開始する「おおぶ地域クラブ」の実施に向けてオールおおぶで子ども達の活動をより良い形で支えていけるよう運営管理事業者や市内の企業、団体等と連携しながら検討していく。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ● アンケート結果



#### ● 参加保護者の声

・地域クラブになってからの試合結果や成績については、今までの部活動と同様に学校での表彰式（朝会等）の対象になるのか。  
・試合結果は個人の内申書にも今までと同じように反映されるのか。

・金額や、活動拠点。毎度親が送迎しないといけな距離は負担が大きいので避けたい。また、ユニフォームや防寒具の買い直しも負担になります。練習着は今までのもの、試合のユニフォームは貸し出しにしてもらいたいです。  
・できるだけ多くの生徒が試合に出れるよう複数チームで参加できるように検討いただきたいです。

平日と土日は指導者が違うとなると指導者の考え方など統一性がなくなり子供が混乱しないか少し不安です。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

クラブ活動に参加するにあたっては、保護者や生徒に対して事前の事業説明をするともに、導入するアプリについて登録方法や使用方法の説明を行っている。

令和7年8月からの「おおぶ地域クラブ」に関する説明動画を市ウェブサイト上にアップし、生徒・保護者へ活動の周知を行った。

生徒・保護者用

特定非営利活動法人TRILL  
2025年1月11日

大府南中学校バスケットボール・卓球部

### 部活動地域移行プレ活動 ～参加申し込み方法～

- 01 入会申し込みの申請**  
所定の入会申し込みフォームから申請します。  
QRコードを読み取り、「参加者はこちら」から  
ログインしてください。  
必ず保護者が、表示された画面の各項目を  
入力して申し込みをしてください。  
申込期限：1月17日（金）
- 02 参加承認**  
申請いただいた申込書の内容を事務局（TRILL）  
で確認します。  
内容に不備等がなかった場合、事務局（TRILL）  
からご登録いただいたメールアドレス宛に入会  
承認の通知が届きます。
- 03 アプリ登録**  
承認通知が届いた方は、アプリ登録の案内に従  
って「部活動アプリクラブマネージャー」に登録  
し、希望する地域クラブへの登録申請をして  
ください。登録いただくのは生徒のみです。  
申込期限：1月17日（金）
- 04 地域クラブへ参加**  
入会申し込みの内容とクラブマネージャーの内容  
に相違がないことを事務局（TRILL）にて確認し、  
確認が取れしなら承認いたします。  
承認後にアプリが使用可能になります。保護者の  
方は、アプリ内の「アプリ使用マニュアル」より  
使用方法を確認し、出席・欠席・遅刻・早退連絡  
を行ってください。

ご登録について、ご不明な点やエラーなどが出た場合には、  
サポート担当（特定非営利活動法人TRILL）までご連絡ください。  
お問合せ先：info@npotrill.jp

【プレ活動案内】

出典:保護者案内

令和7年8月スタート

## 土日のおおぶ地域クラブ活動について

大府市地域展開説明動画  
および  
本件に関するお問い合わせ

指導者募集（人材バンクシステム）

大府市教育委員会

【保護者案内動画】

出典:大府市公式ウェブサイト

【URL : [https://youtu.be/RVSBI\\_qDYf8?si=I\\_B9lv0YrMmF1Sq9](https://youtu.be/RVSBI_qDYf8?si=I_B9lv0YrMmF1Sq9)】



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



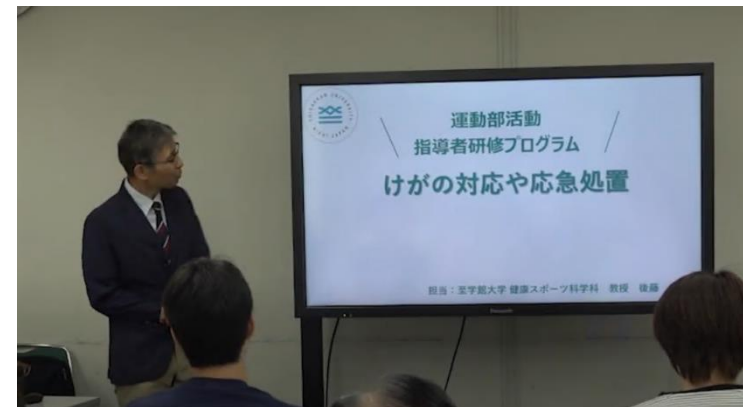
【大府北中サッカー】



【大府中バスケ】



【大府南中卓球】



【指導者研修会】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

協議会設置、  
検討開始

方針決定

令和5年

地域クラブ活動  
のモデル実施①

運営スキーム  
検討

令和6年

地域クラブ活動  
のモデル実施②

令和7年

地域クラブ活動  
の全面实施

#### ●協議会でのき

大府市部活動地域移行準備委員会の  
設置

(内容)

部活動地域移行に向けての方針の策  
定と課題整理を行った。

R4.11 第1回準備委員会

R4.12 第2回準備委員会

R5.3 第3回準備委員会

#### ●計画の策定

「大府市地域移行ビジョン」を策定

#### ●協議会

大府市部活動地域移行実行委員会の  
設置

(内容)

新たな地域クラブの運営管理体制に  
関する課題整理を行った。

R5.6 第1回実行委員会

R5.11 第2回実行委員会

R6.2 第3回実行委員会

#### ●国委託事業でのモデル活動

3中学校でモデル活動を実施。

(内容)

実施時期：R5.8～R6.2

実施主体：民間事業者

実施種目：陸上、バスケットボール

#### ●おおぶ地域クラブの活動開始を決定

・運営管理事業者の決定

・参加料の決定

・運営スキームの決定

#### ●国委託事業でのモデル活動

3中学校でモデル活動を実施。

(内容)

実施時期：R6.11～R7.2

実施主体：民間事業者

実施種目：サッカー、卓球、  
バスケットボール

### 3.今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

##### 長期スケジュール

「大府市中学校部活動地域移行ビジョン」において令和7年8月に土日の部活動を地域クラブとすることを示している。

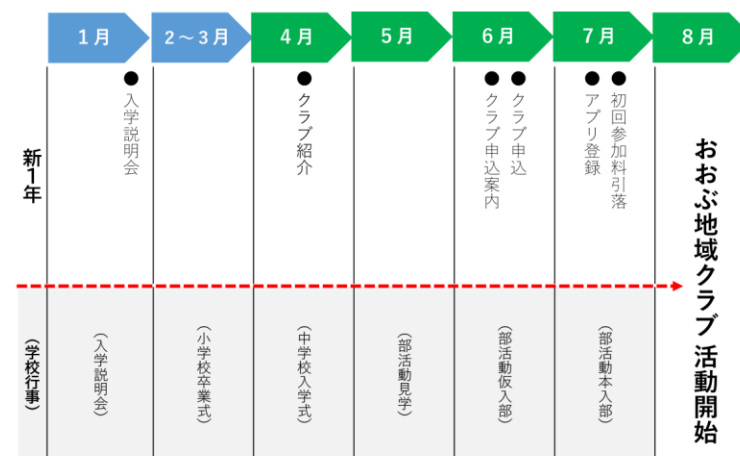
平日の部活動の地域移行については、令和8年以降に検討していくこととしている。

| 年度        | R5                            | R6 | ～R7.7月 | R7.8月～                | R8～   |
|-----------|-------------------------------|----|--------|-----------------------|-------|
| 名称        | (学校) 部活動                      |    |        | 地域クラブ                 |       |
| 位置付け      | 学校教育の一環                       |    |        | 生涯学習 (文化・スポーツ)        |       |
| 運営主体 (土日) | 学校                            |    |        | 地域クラブ                 |       |
| 指導者       | ・教員<br>・部活動指導員、外部指導員 (地域の指導者) |    |        | 地域の指導者<br>(教員は兼職・兼業可) |       |
| 運営主体 (平日) | 学校 ※将来的には平日も地域クラブに移行          |    |        |                       | 地域クラブ |

##### 短期スケジュール

令和7年8月の「おおぶ地域クラブ」開始に向けたスケジュールを生徒・保護者向けに示している。

##### 地域クラブ活動開始に向けた令和7年8月までのスケジュール



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県 豊明市

自治体名 : 愛知県豊明市  
担当課名 : 教育部 生涯学習課  
電話番号 : 0562-92-8317

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 23.22 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 67,851 人              |
| 公立中学校数                 | 3校                    |
| 公立中学校生徒数               | 1,728人                |
| 部活動数                   | 33部活                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 未策定                   |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市内には公立中学校が3校あり、部活動へは各校約8割の生徒が参加している。部活動の指導は主に学校教諭が行っているが、種目によっては外部指導員の協力なしでは活動が難しい部活も存在する。

令和6年度においては運動部活動が11種目25部活、文化部活動が5種目8部活が活動している。このうち、休日に活動している部活動は運動部活動が10種目24部活、文化部活動が1種目3部活となっているが、教員の負担も大きく、休日の部活動の実施が困難になっている部活動もあり、持続可能な活動の受け皿の準備が喫緊の課題となっている。

そのような状況の中、市教委が運営主体となり、地域クラブ活動のモデル事業として市スポーツ協会に加盟している柔道とソフトテニスの2つの協会が実施主体となって活動を行う取り組みを開始。

令和5年11月から市内3中学校合同地域クラブとして柔道、令和6年5月から3中学校それぞれの学校で活動するソフトテニスの地域ク

ラブ活動が始動した。

上記2種目のモデル事業を行って顕在化した課題は、指導以外にも運営に関わる業務が多いため指導者の負担が大きく、持続可能な活動にするために少しでも負担を減らす仕組みづくりである。

また、他の種目に関しても受け皿となる団体の掘り起こしや指導員の確保が大きな課題である。

休日に活動している部活動の部員数

令和6年5月現在

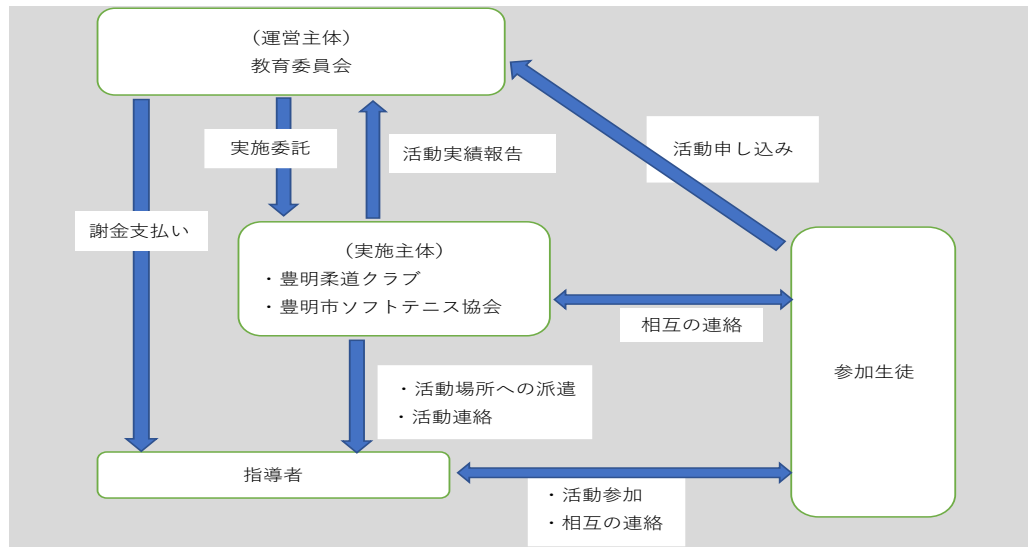
| 種目   | 部員数 |     |     |
|------|-----|-----|-----|
|      | 豊明中 | 栄中  | 沓掛中 |
| 野球   | -   | -   | 24  |
| サッカー | 41  | 35  | 29  |
| 陸上   | 66  | 43  | 35  |
| 剣道   | 21  | -   | 27  |
| 柔道   | 26  | 9   | -   |
| テニス男 | 51  | 3   | 52  |
| テニス女 | 23  | 36  | 41  |
| 卓球男  | 43  | 42  | 46  |
| 卓球女  | 21  | 28  | 28  |
| バレー男 | -   | 38  | -   |
| バレー女 | 22  | 35  | 35  |
| バスケ男 | 18  | 34  | 22  |
| バスケ女 | -   | 19  | 22  |
| 吹奏楽  | 29  | 35  | 38  |
| 計    | 361 | 357 | 399 |

※柔道・ソフトテニスは地域クラブ

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・生涯学習課が主体となり、学校教育課と学校支援室とともに持続可能な地域クラブ活動の在り方について検討する。
- ・地域クラブ活動の運営主体となり、地域の団体に実施委託する。

##### ◎首長部局

- ・なし

### 年間の事業スケジュール

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 令和6年4月  | 地域クラブ（柔道）活動開始                  |
| 令和6年5月  | 地域クラブ（ソフトテニス）<br>栄中学校にて活動開始    |
| 令和6年7月  | 令和6年度第一回部活動地域移行検討委員会の開催        |
| 令和6年9月  | 地域クラブ（ソフトテニス）<br>豊明中・沓掛中にて活動開始 |
| 令和6年12月 | 令和6年度第二回部活動地域移行検討委員会の開催        |
| 令和7年2月  | 各クラブとの意見交換会実施                  |
| 令和7年2月  | 令和6年度第三回部活動地域移行検討委員会（書面会議）の開催  |



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |             |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-------------|
| 中学校数     | 3 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 4 クラブ       |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 4 クラブ（4 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 0 クラブ       |
| 全体の指導者数  | 35 人                                         | 全体の運営スタッフ数  | 8 人         |

#### ②各クラブに関すること

| 中学校名               | クラブ名             | 運営<br>団体<br>種別 | 種目<br>※新規のものは<br>末尾に（新）を<br>付ける | 実施回数          | 実施時間<br>帯      | 参加者  | 実施期間             | 活動場所              | 指導<br>者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費                         | 大会参加方法               |
|--------------------|------------------|----------------|---------------------------------|---------------|----------------|------|------------------|-------------------|----------|----------------------|----------------------------|----------------------|
| 豊明中・<br>沓掛中・<br>栄中 | 豊明柔道<br>クラブ      | 地域<br>団体       | 柔道                              | 月 2 回<br>（休日） | 9：00～<br>12：00 | 35 人 | 令和 5 年<br>1 1 月～ | 豊明中<br>武道場        | 15 人     | 3 人<br>（内、兼務 0 人）    | 月会費<br>／<br>年会費と<br>もに 0 円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動   |
| 栄中                 | 豊明市ソフト<br>テニスクラブ | 地域<br>団体       | ソフトテニス                          | 週 1 回<br>（休日） | 8：30～<br>11：30 | 39 人 | 令和 6 年<br>5 月～   | 栄中テニス<br>コート      | 6 人      | 2 人<br>（内、兼務 0 人）    | 月会費<br>／<br>年会費と<br>もに 0 円 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |
| 豊明中                | 豊明市ソフト<br>テニスクラブ | 地域<br>団体       | ソフトテニス                          | 週 1 回<br>（休日） | 8：30～<br>11：30 | 53 人 | 令和 6 年<br>9 月～   | 豊明中<br>テニス<br>コート | 5 人      | 1 人<br>（内、兼務 0 人）    | 月会費<br>／<br>年会費と<br>もに 0 円 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |
| 沓掛中                | 豊明市ソフト<br>テニスクラブ | 地域<br>団体       | ソフトテニス                          | 週 1 回<br>（休日） | 8：30～<br>11：30 | 63 人 | 令和 6 年<br>9 月～   | 沓掛中<br>テニス<br>コート | 9 人      | 2 人<br>（内、兼務 0 人）    | 月会費<br>／<br>年会費と<br>もに 0 円 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |

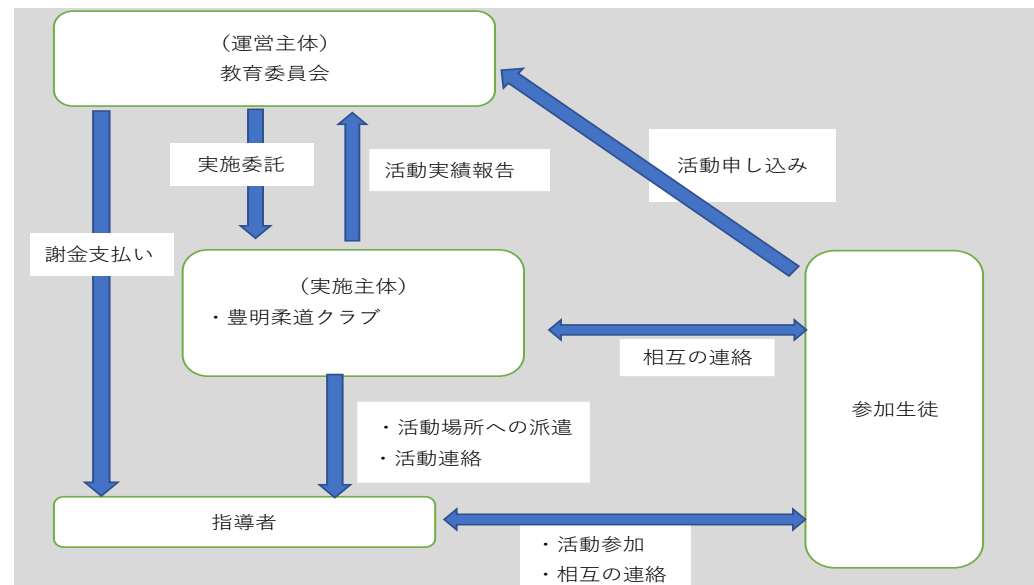
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●豊明柔道クラブ 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 柔道                                              |
| 運営団体名           | 豊明柔道クラブ                                         |
| 期間と日数           | 令和5年11月～<br>月2回程度                               |
| 指導者の主な属性        | 会社員、自営業、主婦、学生など                                 |
| 活動場所            | 豊明中学校 柔剣道場                                      |
| 主な移動手段          | 自転車、徒歩、保護者送迎                                    |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 0円                                              |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●責任者

役割：活動における責任者として、市教委へ活動実績報告を行う

##### ●指導者 15名

役割：参加生徒への指導を行う。保護者、生徒との連携を行う。

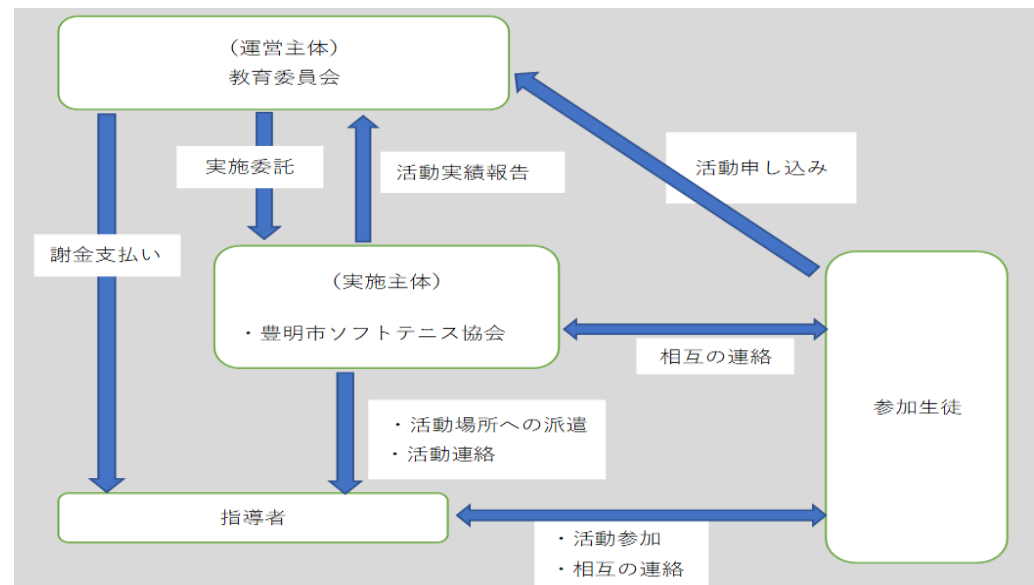
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●豊明市ソフトテニスクラブ 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | ソフトテニス                                          |
| 運営団体名           | 豊明市ソフトテニス協会                                     |
| 期間と日数           | 栄中学校：令和6年5月～<br>豊明中・沓掛中：令和6年9月～<br>各中学校週1回程度の活動 |
| 指導者の主な属性        | 会社員、自営業、主婦、学生など                                 |
| 活動場所            | 市内各中学校テニスコート                                    |
| 主な移動手段          | 自転車、徒歩、保護者送迎                                    |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 0円                                              |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●責任者

役割：活動における責任者として、市教委へ活動実績報告を行う

##### ●指導者 20名

役割：参加生徒への指導を行う。保護者、生徒との連携を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

●地域クラブ活動モデル事業を実施し、運営主体・実施主体の運営体制の整備や課題の洗い出し、市スポーツ協会や近隣大学、市内事業者など各方面に対し指導員募集を行い持続可能な運営ができる組織体制の確立を図った。

●参加者の出欠管理、参加者・保護者・指導員への連絡、スケジュール管理を行うツールとして「部活アプリ」の導入を行う。

##### 取組の成果

●柔道・ソフトテニスでモデル事業を実施し、指導以外の業務の煩雑さが浮き彫りになり、今後の課題が見えてきた。また、指導員募集に関しても現状の募集方法では指導員確保は難しいという課題も見え、次年度以降に向けての方針が固まってきた。

●「部活アプリ」の導入により、指導員と参加生徒・保護者との連絡やスケジュール管理がスムーズになった。

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブの運営主体として、主に市教育委員会生涯学習課が担ってきた。

しかし、学校や地域クラブの実施主体、各種目の指導者との調整業務、指導員確保などの業務が多岐にわたるため、今後種目を拡大する中で現状の人員体制では継続的な活動が難しいと考える。そのため、運営主体を民間事業者への委託化も検討していく予定である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

| 取組事項                                                 | 人材バンクの人数                                                   | 登録者属性                          | 種目                          | 資格有無                                                      |
|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ●現在、モデル事業として実施している柔道・ソフトテニスに関しては地域団体に委託し、指導員の確保を図った。 | 13名                                                        | 【職業】<br>会社員、自営業、部活動外部指導員など     | ・野球<br>・剣道<br>・バスケットボール     | ・部活動外部指導員<br>・スポーツプログラマー<br>・剣道2段                         |
| ●指導員確保のため、市スポーツ協会や市スポーツクラブの指導員に人材バンクへの登録募集案内を行った。    | 人材バンクの年齢構成                                                 | 【登録の経緯】<br>市ホームページ、知人の紹介、チラシなど | ・卓球<br>・バレー<br>・空手<br>・サッカー | ・JBA公認C級コーチ<br>・剣道6段<br>・日本卓球協会公認審判員<br>・パーソナルトレーナー<br>など |
| ●豊明市スポーツ人材バンクの内容を精査し、新たに指導員の確保に努めた。                  | 10代 0名<br>20代 1名<br>30代 3名<br>40代 3名<br>50代 3名<br>60代以上 3名 |                                |                             |                                                           |

#### 取組の成果

- 日常的に部活動外部指導員などで指導に関わっており、子どもたちの様子をよく知っている団体にモデル事業実施委託をした。そのため、保護者や子どもたちが安心して活動に参加できる環境づくりが出来た。
- 柔道・ソフトテニスの指導員に対し、モデル事業実施委託前と年度末に情報共有や意見交換を行った。活動に関する課題や問題点を共有することで、少しずつ活動状況を改善していくことができた。

#### 今後の課題と対応方針

- 大会等への引率についての調整や、平日と休日の活動の効率的・効果的な連携方策について検討する必要がある。
- 指導員の質の保障を保っていくために、研修会を実施していく。
- 指導員確保の体制を強化していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 保護者や参加生徒への周知、学校や部活動顧問との連携を図るため、学校支援室と連携して中学校校長会などを通じ、市内中学校の全ての生徒向けに募集チラシや各種通知文の配布依頼を行った。
- 指導員の派遣などの協力体制を依頼するため、近隣大学へ訪問した。
- 部活動地域移行検討委員会を複数回開催し、学校関係者、保護者などからの意見を集約した。

##### 取組の成果

- 各学校から協力を得て、募集チラシや各種通知文の配布が可能になった。
- 近隣大学と今後も地域移行に関する意見交換が可能な体制を築くことができた。
- 学校現場サイドや保護者からの意見も聞くことができ、今後の展開への貴重な意見を集約できた。

##### 今後の課題と対応方針

- 学校や部活動顧問との更なる連携の強化が必要。
- 近隣大学とより具体的な内容での意見交換をし、更なる連携の強化を図る。
- 関係各所への周知方法や内容についての精査が必要。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 柔道は一部の中学校には部活動が無いため、市内3中学校の生徒が合同で活動を実施している。
- 市教育委員会ホームページ内にて部活動地域移行についての取り組みや今後の動き、部活動地域移行検討委員会の議事録などの情報を公開。

##### 取組の成果

- 合同での活動は、普段関わることの少ない他校の生徒との関係を築くことができる。
- 人数が少ない部活動に関しては合同での活動も可能であると分かり、今後地域移行を進めていく際の参考になった。
- 部活動地域移行に対しての認識度合いを高めることができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 複数校合同での活動は拠点校によっては通うことが難しい生徒がいるため、何らかの対策が必要。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 将来、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を出来る限り低廉な価格設定にすることや、参加生徒の安全面確保の面から、学校体育施設での実証事業の活動実施が出来るよう、調整を行った。
- 教員や顧問が不在の状況でも活動が出来るよう、鍵の管理や倉庫の貸し出しなどの調整を各学校と行った。

##### 取組の成果

- 活動拠点校との調整を市教育委員会が行うことで、円滑に学校体育施設（テニスコート・柔剣道場）が利用出来た。

##### 今後の課題と対応方針

- 活動場所によってはセキュリティ状況が異なるため、そのような場合の学校体育施設利用方法や鍵の管理などのルールを策定する必要がある。
- 今後、活動種目の増加に伴い、地域クラブ活動の拠点となる学校体育施設を利用しやすい環境を整えるため、学校体育施設の利用調整に係る業務を運営主体（外部委託）に一括して委託する方向で進めていく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度は市教育委員会が運営主体となり、前年度から活動開始の柔道部に加え、ソフトテニス部の地域スポーツクラブ活動の実証事業を開始した。

ソフトテニス部の開始以外に今年度から取組を始めたことは次の2点で、1点目が出欠管理やスケジュール管理を行うことができる「部活アプリ」の導入。

2点目が指導員確保のために市スポーツ協会や市内事業者、近隣大学への指導者募集案内の通知・展開。

部活アプリの導入により、今までは学校部活動顧問を通じての連絡しか出来なかったが、指導者から直接生徒や保護者へ連絡することが可能になり、スケジュールに関しても保護者が把握することが出来るようになった。

指導員募集に関しては、指導以外の業務内容が多いため応募することが難しいとの声が多く、指導員に求める内容を根本的に考えるきっかけとなり、次年度以降への参考となった。

上記の課題を含め、次年度以降は持続可能な活動にしていくための取組を強化していく。

#### ●成果の評価

・実証事業として実施している柔道・ソフトテニスの2種目は、日常的に部活動外部指導員などで指導に関わっており、参加する子どもたちの様子をよく知っている地域の団体に地域スポーツクラブ活動の指導実施委託をした。そのため、保護者や子どもたちが安心して活動に参加できる環境づくりができ、平日部活動顧問との連絡調整も比較的スムーズにできた。

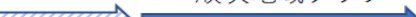
・実証事業を取組む中で、指導以外の業務の煩雑さが浮き彫りとなり、今後の課題が見えてきた。また、指導員募集に関しても現状の募集方法では全種目の指導員確保は難しいという課題も見え、次年度以降に向けて改善していきたいと考えている。

#### ●今後に向けて

・実証事業を実施し部活動の地域移行を進める上での課題として、指導以外の業務が煩雑であるため負担が大きく、持続可能な活動にしていくためには指導員の負担を少しでも分散や減らす仕組みづくりが必要である。また、実証事業の2種目以外の種目に関しては、参加生徒の減少や、教員の負担が大きく活動の実施が困難になっている部活動もあるため、受け皿となる団体の掘り起こしや指導員の確保が喫緊の課題となっている。そのため、コーディネート業務の民間事業者への委託化も含めて、幅広い視点で地域クラブの在り方を検討していく。

### 3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

|             | 令和5年度                                                                                                    | 令和6年度                                             | 令和7年度                                                                                           | 令和8年度                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国           | ★休日部活動の段階的な地域移行の開始<br> | <改革推進期間>                                          | <平日の移行を踏まえた方針の改定>                                                                               | <休日の地域移行開始><br><br><平日を含めた段階的な地域移行開始>                                                                                                                                                                 |
| 市教育委員会      | ・モデル事業の実施（柔道・ソフトテニス）<br>・地域の人材や実施団体の掘り起こし<br>・保護者、参加生徒への部活動地域移行周知                                        | 課題の整理・改善（随時）<br>課題の整理・改善（随時）<br>・外部委託事業者に関する調整    | 課題の整理・改善（随時）<br>課題の整理・改善（随時）<br>課題の整理・改善（随時）                                                    | （R8.9～）休日部活動の地域移行完了<br><br><br> |
| 地域クラブ・中学校部活 | ・モデル事業の実施（柔道・ソフトテニス）<br>・学校休日部活動                                                                         | 課題の整理・改善（随時）<br>課題の整理・改善（随時）                      | 課題の整理・改善（随時）<br>・外部委託事業者が運営主体の地域クラブ活動の実施<br>課題の整理・改善（随時）                                        | （R8.4～）併走期間とし、学校部活動から順次地域クラブへ<br><br>（R8.9～）休日部活動の地域移行完了<br>                                                   |
| 検討事項        | ・モデル事業の実施<br>・部活動地域移行検討委員会の設置<br>・関係各位へのアンケート<br>・部活地域移行制度の周知                                            | ・モデル事業の実施、検証<br>・指導員確保<br>・連絡手段の検討<br>・随時情報の追加・更新 | ・指導員確保の強化<br>・参加費等の受益者負担の確定<br>・活動場所、備品等保管場所の確定<br>・研修内容の確定<br>・教員の兼職兼業可否判断<br>・保護者、教職員等への説明会開催 | ・外部委託事業者の選定、決定<br>・参加費の軽減策の確定                                                                                                                                                                                                                                                            |